

教科名	発行者	教科書名
国語	光村図書出版(株)	国語 1、2、3

上記発行者の教科書を選定した理由

各社とも、教科の目標を達成するために必要な内容が盛り込まれ、挿絵や図表などは全ての生徒にとって読みやすいよう工夫や配慮がなされていた。まとめや評価の観点の明確さもよく工夫がなされていた。単元の配列や単元相互の関連性や連続性も、各社の教材に照らして有効に図られていた。その上で、

- ・教材は、生徒の発達に応じるように段階的に配置され、学習の持続性から学年内・学年間の系統性に配慮がなされていること。
- ・多様な情報にふれたり、多様な解釈を交わすことができるよう教材選定されたり、読み比べできる教材が充実していたり配慮がなされていること
- ・各教材、日常と結びつけるよう図られており、知的好奇心を喚起し、言語活動で主体的・対話的な学習が促されるよう設定に工夫がなされていること
- ・資料、デジタル教材やQRコンテンツも多く掲載され、補充学習や発展学習に資するよう配慮がなされていること
- ・言葉をテーマにした教材、語彙力に関する教材（「語彙ブック」「語彙を豊かに」「言の葉ポケット」など）により、言葉への興味関心が高まるように配慮がなされていること
- ・「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の三領域共通で学習の流れ・中心を明示した「学びへの扉」や、資質能力を図解した「学びのカギ」で、生徒の主体的な取り組みにつなげ、資質・能力を育むよう新たに工夫がなされていること
- ・新設のブックインブック形式「語彙ブック」は、言葉を系統的に整理し本編教材と行き来し活用でき、本編教材や他領域と関連付けの工夫がなされていること
- ・情報活用能力に関わっては、「思考／情報処理のレッスン」で具体例や図解が示され情報の扱い等で、各領域と連携して学びを深められるように系統化されたり工夫がなされていること

以上をふまえ、本教科書が総合的に最適と考え、選定した。

I 調査表 中学校 [国語] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社			
		東書	三省堂	教出	光村
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	◎	◎	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 分量・難易の程度が、生徒の実態に応じるよう配慮がなされているか。	○	◎	◎	◎
	(2) 学習への関心・意欲を喚起し、生徒の発達の段階に即して適切な話題を取り上げたり、話や文章の種類などを調和的に扱ったりするなど、教材選定への配慮がなされているか。	◎	○	◎	◎
	(3) 生徒の言語活動をふまえて、主体的・対話的な学習を促す工夫がなされているか。	◎	◎	○	◎
	(4) 文字の大きさ、字体、行間、字間は適切か。	○	◎	◎	◎
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、図表、写真等が鮮明で、理解を助け、思考力や想像力を高めるよう配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 単元の配列が、生徒の言語生活や系統的な指導に照らして適切か。	◎	◎	◎	◎
	(2) 単元相互の関連性や連続性が、有効に図られているか。	◎	◎	◎	◎
	(3) 主体的に学習に取り組みながら「言葉による見方・考え方」を働かせ、相互に関わり合いながら各領域の言語活動が十分行われるよう配慮がなされているか。	◎	○	○	◎
	(4) 「知識及び技能」が、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」と関連をもち、系統化されているか。	◎	◎	○	◎
	(5) さし絵、図表、写真等が学習展開に有効に活用できるよう配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	◎	◎	◎	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	◎	◎	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [国語]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・社会生活に必要な国語の資質・能力を理解し、課題解決に向け活用できる知識・能力が身につくよう配慮がなされている。 ・思考、判断、表現を繰り返し、資質・能力を着実に身につけ、活用できるように配慮がなされている。 ・言語文化を身近に捉え、現代に通じるものの見方や考え方にふれたり読み広げたりするよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	・教材は生徒の発達に応じるように段階的に配置され、学習の持続性から学年内・学年間の系統性に配慮がなされている。
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(2)	・多様な情報にふれたり、多様な解釈を交わすことができるよう教材選定で配慮がなされている。 ・資料、デジタル教材・QRコンテンツも多く掲載され、補充学習や発展学習に資するよう配慮がなされている。
	(3)	・言葉をテーマにした教材、語彙力に関する教材により、言葉への興味関心が高まるように配慮がなされている。 ・各教材、日常と結びつけるよう図られており、言語活動で主体的・対話的な学習が促されるよう工夫がなされている。
	(4)	・発達段階を考慮しながら、目的や用途に応じて書体を用い、小さな文字にはユニバーサルデザイン書体を用いるなど文字の大きさや字体、字間、行間等、読みやすいものとなっている。
	(5)	・カラーユニバーサルデザインを考慮し、読みにくさや混乱が生じないよう配慮されている。 ・デジタル教材も含めて多様な表やマップなどがあり、考えを可視化する技法として活用できるように工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	・八つのまとまりで教材は構成され、生徒の発達の段階や習熟の過程を考慮し、段階的かつ系統的に学習ができるように配慮がなされている。
「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(2)	・各教材の学びのポイント「学びのカギ」として明示され、年間の学びが図解で俯瞰できるなど、関連性や連続性が有効に図られている。
	(3)	・学習の手引き「学びへの扉」は一新され、学習の全体像や過程、中心がわかるように工夫がなされ、言語活動が十分行われるよう配慮がなされている。
	(4)	・新設のブックインブック形式「語彙ブック」は、本編教材と行き来し活用でき、関連付けの工夫がなされている。 ・「思考／情報処理のレッスン」等で、各領域と連携して学びを深められるように系統化されている。
	(5)	・巻頭「思考の地図」、「読むこと」教材の手引き、他領域の教材等における挿絵、写真、図、表などは見やすく、学習展開に有効に活用できるよう工夫がなされている。
	(6)	・「学びへの扉」は、学習の全体像と中心がわかる構成で3領域を通して共通の構造となっていて、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	(1)	・全領域で学習の流れ・中心を明示した「学びへの扉」や、資質・能力を図解した「学びのカギ」で、生徒の主体的な取り組みにつなげ、資質・能力を育むよう工夫がなされている。 ・教科横断的な関連を図った題材、キャリア教育やSDGs等を扱った題材、学習活動等が選定されている。

教科名	発行者	教科書名
書写	光村図書出版(株)	中学書写一・二・三年

上記発行者の教科書を選定した理由

各社とも、教科の目標を達成するために必要な内容が大変分かりやすく盛り込まれていた。文字・書体等は、発達段階応じるように、よく配慮され、点画・筆順、書体などからみて、基礎的な技能の配列は適切でまとめや評価を含めて学習指導への配慮がよくなされていた。二次元コードにより、視覚的に理解したり、文字文化に触れることができるように工夫がなされていた。その上で、

- ・手紙や原稿用紙等の書式、学校生活や日常生活に生かせるような作例が掲載され、書写で習得した知識・技能を他の生活場面に役立てる方法をイメージできるように配慮がなされていること
- ・「考えよう」で気づいた原理・原則を、「確かめよう」で確認しながら毛筆し、「生かそう」で硬筆や日常生活に生かす手がかりに促せるよう配慮がなされていること
- ・教材文字、レイアウト、工夫した色の組み合わせ、UD書体など、読みにくさや視覚特性等で混乱が生じないよう適切に組まれていること
- ・毛筆教材文字と同じ学習要素を別冊の硬筆練習帳「書写ブック」に設定し、毛筆と硬筆との密接な関連に配慮がなされていること
- ・書写学習の基礎基本や小学校の学習内容をまとめた「中学書写スタートブック」、国語との関連教材による言語活動、古典や短歌俳句を書写する教材の設定により、主体的に学習し、基礎基本について活用や日常の文字に生かせるよう配慮がなされていること
- ・全教材に学習のポイントが明示され、普遍的に活用できる基礎基本、原理原則の確認に配慮がなされていること
- ・朱墨や写真、擬態語・擬音語により、筆脈や穂先の動きなど把握できるように工夫がなされていること

以上をふまえ、本教科書が総合的に最適と考え、選定した。

I 調査表 中学校 [書写] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社			
		東書	三省堂	教出	光村
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	◎	◎	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 文字・語・文・文章・書体等は、発達段階に応じているか。	◎	◎	◎	◎
	(2) 生活経験に即し、文字に対する興味・関心を高める学習となるよう配慮がなされているか。	○	○	◎	◎
	(3) 生徒の気付きを大切にし、必要な技能を身に付けられるよう配慮がなされているか。	○	◎	◎	◎
	(4) 全ての生徒にとって見やすいように、文字、さし絵、写真、図表、コントラスト等などが鮮明で適切に組まれているか。	◎	○	○	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 点画・筆順・文字の大小、書体などからみて、単元の配列が適切であるか。	◎	◎	◎	◎
	(2) 硬筆、毛筆の基礎的な技能がわかりやすく段階的に配列され、学年間の関連の配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎
	(3) 日常生活に役立ち、文字に関わる経験を豊かにできる題材など、生徒の主体的な学習を育てる題材が配列されているか。	◎	◎	○	◎
	(4) さし絵、図表、写真、参考作品などが、指導に生かせるよう工夫がなされているか。	◎	◎	○	◎
	(5) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	◎	◎	◎	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○	○	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [書 写]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・全教材、学習の進め方が同様に示され、生徒が見通しをもつことで主体的に取り組めるよう配慮がなされている。 ・行書の特徴など、普遍的な基礎・基本、原則・原理が明確に示され、知識・技能を効率的に学べるよう配慮がなされている。 ・文字文化に触れられる教材が用意され、豊かな文字文化に触れ、書写で学習したことが実感できるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1)	・字体は、生徒の発達段階に即すように配慮がなされている。 ・国語教科書の教材や日常生活に関連した文字や言葉、文章が選定されていて、学習活動に必然性が生まれるように配慮がなされている。
	(2)	・手紙やはがき、原稿用紙等の書式や、学校生活や日常生活に生かせるような作例が掲載され、書写で習得した知識・技能を他の生活場面に役立てる方法をイメージできるように配慮がなされている。
	(3)	・「考えよう」で気づいた原理・原則を、「確かめよう」で確認しながら毛筆し、「生かそう」で硬筆や日常生活に生かす手がかりに促せるよう配慮がなされている。
	(4)	・大きく分かりやすい教材文字、すっきりしたレイアウト、工夫した色の組み合わせ、UD書体など、読みにくさや視覚特性等で混乱が生じないように適切にくまれている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1)	・知識・技能の習得や活用の繰り返しを意図しながら、発達段階に合わせて、各単元・教材での学習内容が焦点化されており、段階的な配列になるよう配慮がなされている。
	(2)	・毛筆教材文字と同じ学習要素を別冊の硬筆練習帳「書写ブック」に設定し、毛筆と硬筆との密接な関連に配慮がなされている。 ・全教材に学習のポイントが明示され、普遍的に活用できる基礎基本、原理原則の確認に配慮がなされている。
	(3)	・書写学習の基礎基本や小学校の学習内容をまとめた「中学書写スタートブック」、国語との関連教材による言語活動、古典や短歌俳句を書写する教材の設定により、主体的に学習し、基礎基本について活用や日常の文字に生かせるよう配慮がなされている。
	(4)	・朱墨や写真、擬態語・擬音語により、筆脈や穂先の動きなど把握できるように工夫がなされている。 ・多くのQRコードにより、運筆などの動画、文字文化への理解につながる画像などが情報端末により閲覧できるように工夫がなされている。
	(5)	・全教材に「目標」と「振り返ろう」、学習ポイント「学びのカギ」が明示され、生徒が知識・技能の定着や自己の変容を確かめられるように工夫がなされている。
4 全体的な特色	(1)	・写真やイラスト、QRコードによるコンテンツにより、学習内容を視覚資料で確認できるよう配慮がなされている。 ・新設の「中学書写スタートブック」による書写の基礎基本の確認や「書写ブック」による毛筆学習を硬筆に生かす構成で、主体的な取り組みにつなげる配慮がなされている。

教科名	発行者	教科書名
社会 (地理)	(株) 帝国書院	中学生の地理

上記発行者の教科書を選定した理由

- ・全体的に資料に新鮮みがあり、社会の動きに則した内容になっている。
- ・世界の特徴的な風景や生活の様子が分かりやすく示されており、グラフや地図も比較しながら、その地域の気候風土や文化が想像しやすくなるように工夫されている。写真の資料は構図が直接的で要点がつかみやすい。
- ・「学習課題」「確認しよう、説明しよう」で、一時間の学びを焦点化するとともに、学んだことを活かして自分の考えを深めるような呼びかけがあり、主体的・対話的な学びに結びつくような配慮がある。
- ・各章の最初と最後に、各地域の地域的な特色や課題が分かりやすくまとめられる工夫がなされたページがある他、持続可能な社会に向けた取り組みなど、主体的に学ぶきっかけがちりばめられている。

以上のことから、本書は社会科学学習にとって最も適した教科用図書であると考えられる。

I 調査表 中学校 [社会（地理）] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社			
		東書	教出	帝国	日文
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	○	◎	○
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 程度、分量は、生徒の実態からみて適切か。	◎	○	○	◎
	(2) 生徒の関心・意欲を喚起し、学びの深まりを導く展開への工夫がなされているか。	○	○	◎	○
	(3) 生徒自ら課題をもち、主体的・対話的に学習できるよう工夫がなされているか。	○	◎	◎	○
	(4) 観察や調査・見学などの活動やそれに基づく表現活動を進めることができ、社会的事象に対する見方・考え方を働かせる配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、統計資料、地図、年表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の意欲を高めるよう配慮がなされているか。	◎	○	○	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 基礎的・基本的な内容の厳選、単元の適切な配列がなされているか。	○	◎	◎	○
	(2) 問題から問題へと連続的に追究できるように単元構成がなされているか。	◎	○	◎	○
	(3) 主体的に取り組みながら、「社会的な見方・考え方」を働かせ、先哲の考えを手掛かりに思考したり、相互に関わり合ったりしながら、社会的事象の特色や関連、意味を多角的に考える力を養う配慮がなされているか。	◎	○	○	◎
	(4) 社会に見られる課題への配慮がなされているか。	○	◎	○	○
	(5) さし絵、写真、統計資料、地図、年表等の扱いが学習指導の展開に生かせるものになっているか。	◎	◎	◎	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	○	○	○	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○	◎	○

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校〔社会（地理）〕

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・ 1時間の学習課題に対し、終末の「探究課題」で社会科の見方・考え方を働かせた学習活動ができるようになっている。（東京書籍） ・ 各单元ごとに課題や問いを設定し、教科書を使用し、探究的学習が行うことができるように配慮されている。（東京書籍）（帝国書院）
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1)	・ 見開き2ページで資料や本文、「チェック&トライ」を定位置に配置し、学習の流れが分かりやすくなっている。（東京書籍） ・ 具体的な例示や社会的事象の背景などが分かりやすく書かれており、図や写真への参照指示や重要な語句の解説が記載されていて生徒が主体的に学習できるようになっている。（帝国書院）
	(2)	・ 章ごとに「学習の前に」でイラストを読み解く活動を通して、その単元の学習のイメージをつかみやすくなっている。（帝国書院）
	(3)	・ 「地理の技」「地理の窓」「確認・表現」など、学ぶ内容と学び方のきっかけがつかめる仕掛けがたくさんあり、地理の学習の楽しさを実感できる工夫がなされている。（教育出版）
	(4)	・ 「持続可能な社会と私たち」として、SDGsが前面に押し出されており、各項目との関連も分かりやすく示されている。SDGsは生徒たちにも感心の話であり、個別最適な学びに適した教科書づくりがなされている。（日本文教出版）
	(5)	・ 選定された資料を見開きのページの中に必要な数、大きさと掲載しながらも、配置を工夫することで、文章も含めて整備された見やすいレイアウトになっている。（東京書籍）
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1)	・ 学習がスムーズに進むように、単元の配列が工夫されている。（東京書籍）（帝国書院）（教育出版） ・ 太字になっている重要度が高い語句が厳選されている。（東京書籍）（帝国書院）（教育出版）
	(2)	・ 単元を貫く問いがわかりやすく設定されており、1時間ごとの学びだけでなく、単元を通して連続的に追究できるように工夫されている。（帝国書院）
	(3)	・ 「+α」でウクライナ問題を取り上げ、旧ソ連や穀物輸出などに触れるなど、社会的事象を関連的にとらえさせられるような工夫がなされている。（日本文教出版）
	(4)	・ 「未来に向けて」では今日的な課題を多く扱い、写真やグラフから社会の課題に気づき、SDGsへの意識を高めるような工夫がある。（帝国書院） ・ 地理的分野で学習すべき内容から逸脱しない範囲で、広い視点から事象について考えていくように、単元の終末の展開で工夫された内容が掲載されている。（東京書籍）（帝国書院）（教育出版）
	(5)	・ 1時間の課題を掴みかけとなる「導入資料」や単元の大観をするページの写真資料が大判で掲載され、生徒が興味関心をもちやすくなるよう配慮がなされている（東京書籍）。 ・ 各ページに図解や写真が設けられており、視覚的に理解が深まりやすい。資料全般が新しい時代の物であり、時代の変化に対応した資料が用いられている。（帝国書院） ・ 年表、写真、文献資料をバランスよく掲載し、学習に効果的に使用できるように工夫がなされている。（東京書籍）（帝国書院）（教育出版）
	(6)	・ 章の終わりに「議論してみよう」があり、学んだことを活かして自分の考えを整理しながら協働的な学びを深める仕掛けがなされている。（日本文教出版）

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
4 全体的な特色	(1)	・興味を引く資料を掲載し、また生徒の視覚に訴えるレイアウトを工夫しながらも、全体的にすっきりとまとまっていてとても読みやすく、学習に扱いやすい印象を受ける。（東京書籍） ・全体的に資料が新しく、時事的である。テレビや新聞、インターネット等の記事と関連させた学習など、教科書に親しみを持った学習展開が期待できる。（帝国書院）

教科名	発行者	教科書名
社会 (歴史)	東京書籍（株）	新しい社会 歴史

上記発行者の教科書を選定した理由

・見開きの中で、資料のスペースをできるだけ広く確保し、文章を短く、要点的にまとめようとする意図が感じられる。多くの資料から自由に発想し、主体的な学び、協働的な学びを有意義なものにしようとする仕組みがある。

・また、資料は、写真、史料、年表、地図、表など、様々なものがちりばめられており、分かりやすいものとなっている。内容にも広がりを感じられる。

・一時間（見開き）の中に「学習課題」が書かれており、問題解決学習への道筋が持ちやすくなる工夫がある。授業がもっと良くなる3観点、もしくは、学習問題、学習課題を設定して展開する授業との相性も良い。

・「地域の歴史を調べよう」など、自ら課題を設定し、調査を計画、実行し、自分なりに考察をして発表するなど、学習のモデルが丁寧に示されており、社会的事象の特色等を自分の力で理解し、考えを深める工夫がなされている。

以上のことから、本書は社会科学学習にとって最も適した教科用図書であると考えられる。

I 調査表 中学校 [社会（歴史）] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社									
		東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎	令書	
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 程度、分量は、生徒の実態からみて適切か。	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	
	(2) 生徒の関心・意欲を喚起し、学びの深まりを導く展開への工夫がなされているか。	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	
	(3) 生徒自ら課題をもち、主体的・対話的に学習できるよう工夫がなされているか。	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	○	
	(4) 観察や調査・見学などの活動やそれに基づく表現活動を進めることができ、社会的事象に対する見方・考え方を働かせる配慮がなされているか。	○	◎	○	○	◎	○	○	○	◎	
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、統計資料、地図、年表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の意欲を高めるよう配慮がなされているか。	◎	○	○	○	◎	○	○	◎	○	
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 基礎的・基本的な内容の厳選、単元の適切な配列がなされているか。	◎	○	◎	○	○	○	◎	○	○	
	(2) 問題から問題へと連続的に追究できるように単元構成がなされているか。	○	○	○	◎	○	○	◎	◎	◎	
	(3) 主体的に取り組みながら、「社会的な見方・考え方」を働かせ、先哲の考えを手掛かりに思考したり、相互に関わり合ったりしながら、社会的事象の特色や関連、意味を多角的に考える力を養う配慮がなされているか。	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	
	(4) 社会に見られる課題への配慮がなされているか。	○	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	
	(5) さし絵、写真、統計資料、地図、年表等の扱いが学習指導の展開に生かせるものになっているか。	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [社会（歴史）]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由
1 教科の目標からの配慮	(1) ・歴史学習の知識及び技能を系統的に習得できるように、「スキル・アップ」を設けている（東京書籍）。 ・各章冒頭に「小学校で学んだ出来事」の年表があり、小学校での学習と関連させ想起しながら、主体的に学べるようになっている。（帝国書院） ・必要な情報を読み取り、課題解決につなぐことができるように選定された資料が掲載されている。（東京書籍）（帝国書院） ・節ごとの「問い」が明確に示されており、単元を通して何を学ぶのか分かりやすい。（教育出版）
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) ・文の量、強調文字などは申し分なく、資料も、分かりやすく要点的に掲載されていて、直感的に理解ができるよう工夫されている。（自由社） ・大きな字で分かりやすい文章でまとめられているほか、地図や写真も大きめに配置されていて、一時間の内容が感覚的にとらえやすくなっている。（教育出版）
	(2) ・見開き2ページの学習課題の前に、学習内容を象徴するようなタイトルが用いられており、生徒の関心を高める工夫がなされている。（教育出版） ・章の途中、各所の見られる「タイムトラベル」という挿絵が、1時間の導入や単元の導入時に生徒の関心を高めやすいと感じられる。（帝国書院） ・ページのはじめに学習課題が示され、本文には詳細な説明がなされている。生徒の興味関心をひいたり、社会的事象を考察できるような豊富な資料が掲載されている。（山川出版社） ・学習課題の部分に見開き2ページで学習する内容のキャッチコピーが書かれており、小学校までの既習内容を想起したり、知らなかった事実への問いをもちやすくしたりする工夫がなされている。（東京書籍） ・「学習課題」と「確認・表現」が必ず示されていて、授業はもちろんのこと、自学自習においても、学習の要点がつかみやすくなっている。（日本文教出版） ・時代の様子が描かれた「タイムトラベル」「世界とのつながりを考えようイラスト編」で、興味・関心を高めながら、生徒が気がついたことを大切に構造化している。（帝国書院）
	(3) ・各ページの終末には「ステップアップ」課題が設定され、学習内容を深めたり議論したりできるよう工夫されている。（山川出版社）
	(4) ・郷土の歴史的遺産や、人物に焦点を当てた調査・見学・発表の活動を事例として取り扱うことによって、各校の実態に合わせた活動の参考になるように配慮されている。（東京書籍）（帝国書院） ・各項目に「課題」が設定されており、そこで何を学ぶかがはっきり示されている。さらに、終末の「考えよう」で、学びを元に自らの考えを持つためのヒントが書かれている。（令和書籍）
	(5) ・二次元コードの位置が統一されており、生徒が使用しやすい工夫がなされている。また、使用されている資料が授業時に活用しやすく、生徒の意欲を高めることにつながると考えられる。（東京書籍） ・「世界とのつながりを考えようイラスト編」の資料がとてもわかりやすく、各ページの資料も授業時に活用しやすい物が多いと感じられる。（帝国書院） ・選定された資料を見開きのページの中に必要な数、大きさを掲載しながらも、配置を工夫することで、文章も含めて整備された見やすいレイアウトになっている。（東京書籍） ・字の大きさ、強調文字の適度な分量はもちろんのこと、地図や写真も大きく見やすく工夫されている。資料においては適度なすき間が設けられていて、目移りしないような工夫がある。（日本文教出版）

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1)	・学習がスムーズに進むように、単元の配列が工夫されている。 ・太字になっている重要度が高い語句が厳選されている。
	(2)	・各章の終末に「まとめ」が設定され、社会的事象の比較や関連付け、多面的多角的な事象の考察を行うことで、思考力表現力等を育成できるよう工夫されている。（山川出版社） ・章の最後にある「まとめの学習」は、時代ごとの特色や年表が分かりやすく示されており、学習のまとめとしてのノートづくりなど、自分の力で学びを整理できる他、さらに追究しようとするきっかけとなる工夫がある。（令和書籍）
	(3)	・本文で登場する「翔太くん」「さくらさん」が、教科書から発見できる疑問、探究しやすい課題について投げかけており、より深く本文を読んだり、別な視点から資料を見たりする仕掛けになっている。（自由社）
	(4)	・「社会からのアプローチ」や「地域からのアプローチ」を設定し、歴史分野から見た多文化社会の形成や国際平和に関わる現代的な問題を取り上げている。（山川出版社） ・近現代の内容を扱った学習範囲では、現在も存在する社会的な課題と結びつけて、新しく学習する歴史的な知識を学んでいけるように、単元の終末の特設された内容などを位置づけている。（東京書籍）（帝国書院）
	(5)	・二次元コードの位置が統一されており、生徒を導きやすくする工夫がなされている。また、使用されている資料が授業時の読み取り活動に使いやすい物が多いと感じられる。（東京書籍） ・「世界とのつながりを考えようイラスト編」の資料が授業の導入、展開時に使用しやすいと感じられる。各ページの資料も授業時に活用しやすい物が多い。（帝国書院） ・生徒の興味関心をひいたり、歴史的な見方考え方を働かせて考察できるような豊富な資料が掲載されている。（山川出版社） ・年表、写真、文献資料をバランスよく掲載し、学習に効果的に使用できるように工夫がなされている。（東京書籍）（帝国書院） ・「もっと知りたい」コラムの戦国時代のところでは、川中島の戦いが掲載されている。（自由社） ・各章にある「文献資料」は、史料を平易な文章に直して掲載されていて、史料に基づいて歴史を解釈することの重要性が伝わってくる。根拠を持って調べ、自分の考えを持つことにつながっている。（令和書籍）
	(6)	・毎時間の「確認」を示し、各時代の終わりには「まとめとふり返し」を設定し、その時代を大観できるまとめを行うときの評価の観点が明確になっている。（日本文教出版） ・各章の終末には様々な思考ツールを使って学習内容を整理する「まとめの活動」があり、事象の関連や流れをまとめ、時代の特色をつかむ学習が展開できるようになっている。（東京書籍）
4 全体的な特色	(1)	・興味を引く資料を掲載し、また生徒の視覚に訴えるレイアウトを工夫しながらも、全体的にすっきりとまとまっていてとても読みやすく、学習に扱いやすい印象を受ける。（東京書籍）

教科名	発行者	教科書名
社会 (公民)	東京書籍（株）	新しい社会 公民

上記発行者の教科書を選定した理由

・単元全体を貫く「探究課題」を立てる導入活動から、1時間ごとの「学習課題」を設定し、解決しながら進めるスタイルで、全体的に、長野県の問いを立てて追究する単元構想との相性が良い。

・本文の見開き上部に掲載される資料が非常に的確で分かりやすい。やや細かい印象を受けるが、自ら問いを立て探究しようとする生徒には合っていると考ええる。

・「チェックアンドトライ」のように、本文から何を読み取れば良いかの視点が分かりやすく示されている他、「トライ」では、学んだことを自分の言葉で表現し、整理できるような仕掛けがある。

・資料、レイアウト、分量など、全体的に、学習内容に興味関心がもてるような工夫がなされており、主体的対話的な学びを追求するきっかけが多くある。

以上のことから、本書は、社会科学学習にとって最も適した教科用図書であると考えられる。

I 調査表 中学校 [社会 (公民)] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社					
		東書	教出	帝国	日文	自由社	育鵬社
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	○	◎	○	○	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 程度、分量は、生徒の実態からみて適切か。	○	◎	○	◎	◎	○
	(2) 生徒の関心・意欲を喚起し、学びの深まりを導く展開への工夫がなされているか。	◎	○	◎	◎	○	○
	(3) 生徒自ら課題をもち、主体的・対話的に学習できるよう工夫がなされているか。	◎	○	◎	◎	◎	○
	(4) 観察や調査・見学などの活動やそれに基づく表現活動を進めることができ、社会的事象に対する見方・考え方を働かせる配慮がなされているか。	○	○	○	○	○	○
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、統計資料、地図、年表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の意欲を高めるよう配慮がなされているか。	○	◎	○	○	◎	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、 まとめと評価)	(1) 基礎的・基本的な内容の厳選、単元の適切な配列がなされているか。	◎	○	◎	◎	◎	◎
	(2) 問題から問題へと連続的に追究できるように単元構成がなされているか。	○	○	○	○	○	◎
	(3) 主体的に取り組みながら、「社会的な見方・考え方」を働かせ、先哲の考えを手掛かりに思考したり、相互に関わり合ったりしながら、社会的事象の特色や関連、意味を多角的に考える力を養う配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎	○	○
	(4) 社会に見られる課題への配慮がなされているか。	◎	◎	◎	○	◎	○
	(5) さし絵、写真、統計資料、地図、年表等の扱いが学習指導の展開に生かせるものになっているか。	◎	◎	◎	○	○	◎
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	○	○	○	○	○	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	○	○	○	○

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [社会 (公民)]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・必要な情報を読み取り、課題解決につなぐことができるように選定された資料が掲載されている。(東京書籍)(帝国書院) ・図や写真などの資料の充実、広く深い学びに繋がるコラムが充実している。(東京書籍) ・生徒の興味をひきつけるような写真などの資料が豊富で導入からまとめ(振り返り)までの構造が分かりやすい。(帝国書院) - 具体的な社会的事象や資料の活用を通して、知識及び技能を身につけられるようになっている。(東京書籍) ・導入から学習の振り返りまで構造化された展開により、興味をもって知識の定着を図られるようになっている(帝国書院) ・使用されている資料が全体的に新しい物が多く、現代社会について学んでいく公民分野の学習には適していると考えられる。(帝国書院)
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1)	・比較的平易な文章表現であり、ページごとの分量も多すぎず適当である(日本文教出版) ・字の大きさ、強調文字の程度などが適切で分かりやすい。また、資料も大きく直接的なものが多く、生徒たちに伝わりやすい(自由社)
	(2)	・導入、追究、まとめの構成がわかりやすい。「みんなでチャレンジ」「チェック&トライ」「探求のステップ」は深まりを導くための工夫がなされている。(東京書籍) ・単元の導入でイラストやシミュレーションなどの活動が設定されており、生徒の学びに向かう意欲を高める工夫がなされている(東京書籍)。 ・章ごとに「学習の前に」でイラストを読み解く活動を通して章の学習のイメージをつかみやすい工夫がなされている。(帝国書院) ・生徒が公民分野に興味関心をもてるような写真資料やイラスト、統計グラフが多用されている。(日本文教出版) ・章ごとにある「学習の前に」でイラストを読み解く活動が生徒の関心を高めやすいと考えられる。(帝国書院)
	(3)	・「アクティブに深めよう」では、現代社会の問題や課題に則した問題提起がなされており、それに応じた学習の深め方が分かりやすく指南されている。個別的な学びのみならず、協働的な学びに対してもアプローチがなされていて、学習が進めやすい。(自由社) ・「節の問い」が全てのページに印字してあり、学習内容に立ち返られるよう工夫がなされている。「アクティビティ」では、学びを説明したり、話し合ったりできるような工夫がある。(日本文教出版)
	(4)	・レポート作成や、発表当の学習の模範の授業展開を例示することによって、多様な学習に対応できる内容になっている。(東京書籍)(帝国書院) ・「18歳への準備」「アクティブ公民」「アクティブ公民AL」は分かりやすいイラストを使い、見方・考え方を働かせながら考察ができるような工夫がなされている。(帝国書院) ・単元の終末にある「深めよう」のコーナーが、生徒にとって考えやすい内容になっており、社会的事象に対する見方・考え方を深めるための工夫がなされている。(東京書籍)
	(5)	・選定された資料を見開きのページの中に必要な数、大きさを掲載しながらも、配置を工夫することで、文章も含めて整備された見やすいレイアウトになっている。(東京書籍) ・ほぼ全てのページにQRコードコンテンツがあり、様々な資料にアクセスしたり用語チェックができたりする工夫がなされている。(東京書籍) ・文字はユニバーサルデザインフォントが、資料はカラーユニバーサルデザインに配慮した色調が用いられている。各章をパステル系で色分けし、シンプルで分かりやすくなっている。(教育出版) ・写真や図のスペースが大きく確保してあり、学ぶ内容がインパクトとして入りやすくなっている。レイアウトには適度なすき間もあり、他の資料と混同したり、目移りしたりすることがない。(自由社)

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1)	・太字になっている重要度が高い語句が厳選されている。（東京書籍）（帝国書院） ・配列のバランスのよさ、「未来に向けて」はSDGsとの関連、意識づけができる工夫がなされている。（帝国書院） ・小学校や地理・歴史分野といった既習の知識や技能を関連させた展開ができるようになっている（東京書籍）。 ・単元の節目節目に「やってみよう」があり、学んだことを整理したり、感覚的に理解したりできるようになっている。基礎的、基本的な内容を、自分の力で学習できるようになっている（自由社）
	(2)	・単元全体を貫く「探究課題」を立てる導入活動から1時間ごとの「学習課題」を解決しながら進めるスタイルで、長野県の問いを立てて追究する単元構想ができるようになっている。（東京書籍）
	(3)	・解説や資料の充実。これからの社会を考える持続可能な社会の実現に向けての5項目との関連を示した配慮がなされている。（東京書籍） ・各章に「振り返り（HOP!STEP!JUMP!）」のページがあり、社会的事象の特色や関連を深く考えられるよう工夫がなされている。（教育出版） ・現代の社会の課題、その後の社会への意識づけ、社会的事象との関連や意味づけがしやすいよう工夫がなされている。（帝国書院） ・「明日に向かって」や「チャレンジ公民」を設定することで、現代的な諸課題を多面的多角的に判断し、社会参画の意欲を養えるよう工夫されている。（日本文教出版）
	(4)	・現在も存在する社会的な課題と結びつけて、生徒が学習内容を自分事として捉えていくことができるように、掲載内容の構成が工夫されている。（東京書籍）（帝国書院） ・どの節もSDGsとの関連がわかるよう工夫がなされている。また、様々な教材や課題が提示され、社会の課題について主体的に考えられるような工夫がなされている。（教育出版） ・各節を貫く「問い」、地図帳の活用、資料活用、対話的活動を関連させながら、SDGsなどの今日的な課題と結び付けて学習できるよう工夫がなされている。（帝国書院） ・全てのページに、本時の学びとSDGsとの関連が書かれており、社会科が、持続可能な社会に向けた学習であることが視覚的にもわかるようになっている。学んだことをこれからの自身の生き方に取り入れていこうとする姿勢も育ちそうだ。（教育出版）
	(5)	・年表、写真、文献資料をバランスよく掲載し、学習に効果的に使用できるように工夫がなされている。（東京書籍）（帝国書院） ・「LOOK!」や「THINK!」というコーナーに様々な資料や写真、図表があり、それを手掛かりに見方や考え方を深めていける工夫がなされている。「公民の窓」には学習に生かせる様々な情報が盛り込まれている。（教育出版）
	(6)	・まとめの活動に「確かめよう」「ふり返ろう」「深めよう」の3つのステップを設け、知識、主体的に学習に取り組む態度、思考・判断・表現が確認できる工夫がなされている。（東京書籍）
4 全体的な特色	(1)	・興味を引く資料を掲載し、また生徒の視覚に訴えるレイアウトを工夫しながら、全体的にすっきりとまとまっていてとても読みやすく、学習に扱いやすい印象を受ける。（東京書籍） ・分量、豊富な資料、展開の構造が1時間の学習の進め方として分かりやすく工夫されている。（東京書籍）

教科名	発行者	教科書名
社会 (地図)	(株) 帝国書院	中学校社会科地図

上記発行者の教科書を選定した理由

- ・各州、各地方の特徴的な分布が、比較しやすいように配列されており、視覚的にとらえやすい。
- ・関連するグラフや図表などが十分に備えられており、主体的な学びをすすめることができるよう、工夫がなされている。
- ・地図帳を通してSDGsを考えていけるよう、使い方の紹介がされているなど、持続可能な社会と、日本と世界が抱える諸課題について関連づけて考えられるような仕掛けがある。
- ・「地図で発見」など、地図をさらに多面的にとらえるための問いが投げかけられており、個々の疑問や新たな課題を探究するきっかけをつかみやすい。
- ・二次元コードのリンク先から、課題別の資料にたどり着きやすいように工夫がなされており、生徒が自分の力で探究するための支援となり得る。インターネット等をつかった探究的な学びにも関連づけやすい。

以上のことから、本書は、社会科学習に最も適した教科用図書（地図帳）であると考えられる。

I 調査表 中学校 [社会（地図）] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社	
		東書	帝国
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 地域区分、地名、産物等の表記の分量と選択が適切で、読み取りやすい工夫がなされているか。	◎	◎
	(2) 問題追究の過程で、地図を読んだり、進んで活用したりすることができるよう工夫がなされているか。	○	◎
	(3) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、地図の段彩や写真、絵、統計資料等の配色やコントラストが鮮明で分かりやすく、親しみやすく学習できるよう配慮がなされているか。	◎	◎
	(4) 地図や写真、絵、統計資料等は、正確で新しく、その提示が内容に即して適切か。	○	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 基本地図の配列が適切であり、それ以外の自然、人文各種地図が、各学年の単元展開に効果的に使用できるよう配慮がなされているか。	○	○
	(2) 各種地図が、関連的に考察できるよう配慮がなされているか。	○	◎
	(3) 現代社会の姿や課題への配慮がなされているか。	◎	◎
	(4) 写真、絵、統計資料、地図等の扱いが学習指導の展開に生かせるよう工夫がなされているか。	○	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [社会 (地図)]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・世界の各州、日本の各地域の姿は理解しやすい構成になっている。「ミツバチーズ」というキャラクターが生徒への思考を促すような工夫がなされている。(東京書籍) ・資料が多様である。QRコードでデジタルコンテンツにアクセスして関連する資料が見られるよう工夫されている。(帝国書院) ・地図帳を活用しながら、主体的な調査学習につながるように、探究意欲を満たすデータや情報が掲載されている。(東京書籍)(帝国書院) ・鳥瞰図や写真、デジタルコンテンツなど様々な表現方法を通して地域的特色に興味・関心をもち、生徒が主体的に調査・発表できるようになっている(帝国書院) ・各ページの資料も統計資料も年代が新しい物が多く、世界の現状をとらえるのに適切な物が使われている。(帝国書院)
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	・イラストや、特設されたページでの産物等の詳細な表記によって、学習している地域と結びつけて、読み取れる工夫がなされている。(東京書籍)(帝国書院) ・図や写真、資料が適度に配置され、大きさなども読み取りやすいよう配慮されている。(帝国書院) ・地名や地域区分を色使いを分けながら明確に示し、各国・各州の気候や産物・宗教などについてイラストやグラフで示すことにより、地域的特色が読み取りやすいようになっている。(帝国書院)
	(2)	・特設されたページでの詳細な情報に加え、地図上にもバランスよく情報が載せてあり探究的な学習につながる工夫がなされている。(帝国書院) ・各地方の言語や産業、防災など、関連する資料を同じページに掲載し、「Bee's eye」によって活動例を示すことにより、複数の資料を関連付けて考えることができるようになっている。(東京書籍) ・多様な地図や資料を掲載し、「地図で発見！」に活動例を示し、日本の都市の地図や土地利用図も掲載しており、多様な学習に対応できるようになっている。(帝国書院)
	(3)	・色覚特性のある生徒にとって見やすい色使いにしてあり、ユニバーサルデザインを意識してある。(東京書籍) ・全体的に明るい色使いになっており、多くの生徒にとって見やすい印刷がなされている。(帝国書院)
	(4)	・資源や農産物の生産の分布などが分かりやすく示され、教科書に示された課題やテレビ等の情報の裏付けがしやすい工夫がなされている。(帝国書院)
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列	(1)	・テーマごとの地図が、同じ大きさ、並列で記載されており、地域的な状況を全体的に捉えやすく、また、比較しやすいように工夫されている。(帝国書院)
「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(2)	・統一されたレイアウトの中に、イラストなどを散りばめ、産物や地形を比較できるようにすることで、地域ごとの特色を比較しやすいように工夫がなされている。(東京書籍)(帝国書院) ・地域別にその地域の特色が分かるような配置となっており、多くの資料で発展的に学習しやすいよう工夫がなされている。(東京書籍) ・環境問題や防災といったテーマに沿って資料を多く掲載し、教科書で学んだ内容について、追加で発展的に学習できるようになっている。(東京書籍) ・どの地域も地図の次に資料がくる構成になっており、比較しやすい。また、縮尺が同じになっているのも比較しやすいにつながっている。(帝国書院)

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
	(3)	・SDGsに関わる諸問題等、世界や日本がそれぞれ抱えている課題や実態についてわかりやすく掲載されている。（東京書籍） ・地図帳を通してSDGsを考えていけるよう、使い方の紹介がされており、世界が抱える諸課題について考えられるような資料が豊富に掲載されている。（帝国書院）
	(4)	・地域的な特色として、歴史的な経過なども分かるような資料が多く取り上げられており、社会科を総合的な視点でとらえられるような工夫がなされている。（東京書籍）
4 全体的な特色	(1)	・生徒が親しみやすく、読み取りやすい資料の示し方や地域別に発展的に考えを深められるような工夫がなされている。（東京書籍） ・豊富な資料、生徒の思考を深められるような配置、世界の情勢や実態がわかるような地図、資料の示し方にも工夫がなされている。（帝国書院） ・デザインや読みやすさの観点から、生徒が手に取り、主体的に情報を確認する姿が想起される。（帝国書院）

教科名	発行者	教科書名
数学	(株) 新興出版社 啓林館	未来へひろがる数学

上記発行者の教科書を選定した理由

- 各社とも、数学的活動を通して思考力、判断力、表現力等を養ったり、興味・関心を喚起しながら主体的に学びに向かう態度を養ったりできるよう配慮がなされている中、上記教科書が他との比較において優れていると判断した理由は以下の通りである。
- ① 学びをひろげる場面や問題を解決する場面で役に立つ考え方を「たいせつな考え方」として顕在化させ、わかりやすく表現することで、数学的な見方・考え方を体得できるよう工夫がなされている。
 - ② 節の先頭には「学習のとびら」を配置し、身のまわりの題材などを取り上げ、数学が生活や社会で有用に働いていることを実感しながら、興味・関心をもって学習に向かうことができるよう工夫がなされている。
 - ③ 単元に「〇〇の利用」の節を配置し、問題発見・解決の過程を取り入れた「ステップ方式」の課題を設け、自ら問題を発見し、解いた問題をさらに深める力が身に付くよう工夫がなされている。
 - ④ 補充問題や解答、解説をQRコンテンツに移行しページ数を削減。また、問題解説コンテンツでは問題を解くための考え方、途中式を含めた詳解、問題の解き方を解説した動画を用意し、一人ひとりのペースに合わせて問題に取り組めるよう工夫がなされている。
 - ⑤ 数学の世界や身のまわりで活用する課題を掲載した「学びをいかそう」では、リンクマークを配置して関連題材があることを可視化しながら、学んだ数学を使ってその課題を解決することを通して、数学を学ぶ意義や有用性を実感しながら、新たな学びに向かえるよう工夫がなされている。
 - ⑥ 各章末には章末問題に豊富な問題を用意し、学習内容の定着を図れるようにするとともに、生徒自身が学びの過程を振り返って評価し改善を図れるよう工夫がなされている。
 - ⑦ 「ふりかえり算数」を配置して算数での学びを確認したり、「学びをいかそう」で高校数学に関連する発展的内容を取り上げたりしながら小中高の学習を円滑につなげられるよう工夫がなされている。

I 調査表 中学校 [数学] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社						
		東書	大日本	学図	教出	啓林館	数研	日文
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	○	○	◎	○	◎	○	○
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 発達段階に応じ、生徒の多様な考え方や数学的な処理の仕方を生み出せるように配慮がなされ、分量も適切か。	○	◎	◎	○	◎	○	○
	(2) 興味・関心を喚起し、自ら問題を見出し、解決するための構想を立て、実践し、その過程や結果を評価・改善するなどの数学的活動になるよう、内容構成への配慮がなされているか。	◎	◎	○	○	◎	◎	◎
	(3) 現実の世界と数学の世界それぞれにおける問題発見・解決の過程が相互に関わり合いながら、生徒が目的意識をもって、主体的・対話的に学習できるよう、展開の工夫がなされているか。	◎	○	◎	◎	◎	○	○
	(4) 既習の学習内容を繰り返し学習ができるよう配慮がなされているか。	○	◎	◎	◎	◎	○	○
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、資料、図表等の意図が明確で、生徒の興味・関心が高まるよう工夫がなされているか。	○	○	○	○	◎	◎	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 単元の構成や配列が、目標に照らして適切か。	◎	○	◎	○	○	○	◎
	(2) 数と式、図形、関数、データの活用の内容が生徒の発達に即して系統化され、基礎的・基本的な内容の扱いが適切か。	○	◎	◎	◎	◎	○	○
	(3) 主体的に活動しながら「数学的な見方・考え方」を働かせ、事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、相互に関わりながら根拠を基に筋道を立て、論理的・統合的・発展的に考えられるよう配慮がなされているか。	○	○	○	◎	◎	◎	○
	(4) 数と式、図形、関数、データの活用の各領域を相互に関連付けたり、内容を補充・発展させたりして、個に応じた指導に生かせるよう配慮がなされているか。	◎	○	○	○	◎	○	◎
	(5) 用語、記号、記述が数学的に正確であり、さし絵や資料等が指導に生かせるものになっているか。	◎	◎	○	○	○	◎	◎
4 全体的な特色	(6) まとめや評価の観点、明確になるよう工夫がなされているか。	○	○	◎	◎	◎	○	○
	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○	○	○	◎	○	○

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 〔 数学 〕

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由
1 教科の目標からの配慮	(1) ・ 各社とも、身近な事象の中の数学について考える場面を設定し、数学的活動を通して思考力、判断力、表現力等を養ったり、興味・関心を喚起しながら主体的に学びに向かう態度を養ったりできるよう配慮がなされている。 ・ 具体的な例や既習事項と関連付けたり、補充問題で確認をしたりするなど、知識及び技能を確実に習得できるよう工夫がなされている。【啓林館】 ・ 既習事項をもとにして、論理的に考察し、数量や図形の性質を見だし、統合的・発展的に考察できるよう工夫がなされている。【学図、啓林館】
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) ・ 各社とも、つまずきへの手立てや補充問題を充実させたり、発達の段階に応じて数学的な処理の仕方を学べたりできるよう配慮がなされている。 ・ 各節の導入場面では、事象を図式化したり、イラストを挿し込んだり、具体物操作や帰納的に考える場面を設けたりしており、既習事項を用いて問題発見・解決していけるよう工夫がなされている。【大日本】 ・ 生徒同士の対話を示して話し合い活動を促したり、基礎的・基本的な内容をスモールステップで展開したりすることで、多様な考え方や数学的な処理の仕方を学べるよう工夫がなされている。【学図、啓林館】
	(2) ・ 各社とも、数学的な活動を通して学びを深めることができるよう配慮がなされている。 ・ 興味・関心をもって学べるように、身近な事象を取り上げて、章全体で問題発見・解決のサイクルを大切にしたり、自ら「数学的な見方・考え方」を働かせていけるよう工夫がなされている。【東書、大日本】 ・ 問題発見・解決の過程を取り入れた「ステップ方式」の課題を設け、自ら問題を発見して解決し、解いた問題をさらに深める力が身に付くよう工夫がなされている。【啓林館】 ・ 身近な事象を問題として扱うことで、生徒が自身の経験や既習内容と結び付け、解決していくことで、数学を学ぶよさや有用性を実感できるよう工夫がなされている。【数研、日文】
	(3) ・ 各社とも、働かせる数学的な見方・考え方を意識できるようにしながら、主体的・対話的に学習を進められるよう配慮がなされている。 ・ 身のまわりや数学の事象をもとに、問題発見・解決の過程を重視した数学的活動に取り組むことができるよう工夫がなされている。【東書、学図、啓館】 ・ 「学んだことを活用しよう」では、日常生活の事象を数学化として捉えやすくなっている主体的・対話的に学習できるよう工夫がなされている。【教出】 ・ 「学び合おう」では、問題解決の過程が明示され、イラストなどの例示で、主体的・対話的な学びを促す工夫がなされている。【日文】
	(4) ・ 各社とも、適切かつ適量の練習問題等の設定により、基礎的な内容の理解を確かなものにするとともに、学び直しができるよう配慮がなされている。 ・ 「プラスワン」等で基本的な内容の理解をより確かなものにしたたり、問題解決で働かせた「数学的な見方・考え方」を他の問題で生かしたりできるよう工夫がなされている。【大日本】 ・ これまでの既習内容とのつながりをもって、繰り返し学びやすいよう工夫がなされている。【学図、教出】 ・ 章末の「章のあしあと」では、生徒自身が学びの過程を振り返って評価し改善を図れるよう工夫がなされている。【啓林館】

本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真
図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
	(5)	- 各社とも、判読しやすい配色や読みやすいフォントを使用し、視覚的に興味、関心を高め、わかりやすく学習ができるよう配慮がなされている。 - ユニバーサルデザインフォントの使用や、意味や文節による改行など、様々な生徒の個性をふまえて学習を進められるよう工夫がなされている。【啓林館】 - 配色が豊かで、色やデザインで関連のある部分が視覚的にわかりやすくなるよう工夫がなされている。【数研】
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1)	- 各社とも、まとまりのある内容ごとに単元が構成され、数学を学ぶ意義や有用性が実感できるような構成になるよう配慮がなされている。 - 章のとびらには、身に付けてほしい資質・能力を示し、章のめあてとして、見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。【東書】 - 既習内容を活用して問題を解くとともに、日常生活に生かせる課題を扱えるよう工夫がなされている。【学図、日文】
	(2)	- 各社とも、既習事項を関連付けたり、系統化したりすることで、問題解決で働かせた見方・考え方や表現力が高まるよう配慮がなされている。 「活動」等をもとにしながら数学的な表現を用いて説明し伝え合い、身に付けてきた知識及び技能を活用して考えることを通して問題を解 - 決していけるよう工夫がなされている。【大日本】 - 数学で用いる考え方を示し、根拠を基に考えたり表現したりすること - のよさが感じられるよう工夫がなされている。【教出】 - 関連する既習事項や前後のつながりを重視し、生徒の発達に即して系統的に学習を進められるよう工夫がなされている。【学図、啓林館】
	(3)	- 各社とも、友だちと関わりながら筋道を立てて論理的かつ、統合的・発展的に考えられるよう配慮がなされている。 - 基本的な概念を理解する、学んだことを活用して論理的に考察し課題を解決する、生活に活かす、という流れを意識した構成になるよう工夫されている。【教出】 - 問題を解決する場面などで役に立つ考え方を「たいせつな考え方」として顕在化させ、わかりやすく表現することで、数学的な見方・考え方を体得できるよう工夫がなされている。【啓林館】 - 身近な問題を切り口として、経験をもとにしたり、数量や図形などと関連付けたりしながら、既習事項を根拠として問題解決の筋道を立て、論理的、統合的・発展的に考えられるよう工夫がなされている。【数研】
	(4)	- 各社とも、他の領域と関連付けて基礎的・基本的な定着問題が準備されており、学習内容を補充・発展できるよう配慮がなされている。 「学びをいかそう」には数学の世界や身のまわりで活用する課題が掲載されており、個に応じた指導に生かせるよう工夫がなされている。【啓林館】 - ICT機器を取り入れた学習を見据えたドリル学習や、説明用の画像など、個に応じた指導ができるよう工夫がなされている。【日文】
	(5)	- 各社とも、用語や記号を分かりやすく示して説明を加えるとともに、学習場面と関連した写真や、説明を補う図を配置するなど学習の理解を助けられるよう配慮がなされている。 - 学習の場面やねらいに応じ、二次元コードを配置することで、生徒の問題解決や追究に生かせるよう工夫がなされている。【東書】 - 各学習の「活動」には、追究の手がかりとなるキャラクターの考え方が挿絵で載っていることで、生徒が追究の見通しをもち、主体的に取り組むことができるよう工夫がなされている。【大日本】 - 二次元コードを読み込むことで、用語の解説を読んだり、問題や図形のイメージを視覚的に理解したりすることができるよう工夫されている。【数研】

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
	(6)	・ 各社とも、章末問題に振り返りができる問題を準備し、個々の生徒が自己評価しながら学習内容の定着が確かめられるよう配慮がなされている。 ・ 各節の最後に学んだことをまとめ、さらに新たな疑問を示すことで、次の課題への学習の動機づけができるよう工夫がなされている。 【学図】 ・ 各章の章末の問題では、各問いにそれぞれの評価規準が示してあったり、章末問題にチェックらんを設けて学びの記録を残せるようにしたりして、自己評価しやすいよう工夫がなされている。 【教出、啓林館】
4 全体的な特色	(1)	・ 各社とも、日常事象から数学の問題を見出し、数学的な見方・考え方を働かせながら解決する力や知識及び技能が身に付けられるよう配慮がなされている。 ・ 問題を発見・解決し、その過程を振り返って評価・改善を図ったり、新たな問題を設定したりできるよう工夫がなされている。また、「たいせつな考え方」として「数学的な見方・考え方」を明確にし、数学的に考える資質・能力が育つよう工夫がなされている。【啓林館】

教科名	発行者	教科書名
理 科	東京書籍（株）	新編 新しい科学

上記発行者の教科書を選定した理由

【理由 1】

レッツスタート（問題発見）から課題，仮説（予想），構想，実験，分析解釈，結論，活用のように教科書の流れと生徒の思考の流れと連動しているため，安心して主体的な学びにつなげることができるように工夫されている。

【理由 2】

既習事項や関連する内容を「これまでに学んだこと」で示され，他教科の学習内容もQRコードで載っており，生徒の実態に合わせて関連付けて学ぶことができるように工夫がなされている。

【理由 3】

他社と比べてQRコードが充実していて，安全に実験や観察ができるように動画で示されていたり，生徒がシミュレーションを試すことができたり，「もっと調べたい」「もっと考えたい」と感じたりしたときに各自がタブレット端末を用いて利用するため，個別最適な学びにつなげる活用が期待できる。

【理由 4】

AB版で写真やグラフ等の図版と文章のバランスが良く，改行までの文字数が増えたことで読みやすくなっている。紙質もめくりやすく，光の反射も少ないため実物投影機で示しても生徒が見やすくなるように配慮がなされている。

【理由 5】

単元・章の初めと終わりにBeforeとAfterが設定されていて，学習を通して得た知識や学び方の変容や高まりを感じて，自己肯定感を高めることができるような工夫がなされている。

I 調査表 中学校 [理科] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社				
		東書	大日本	学図	教出	啓林館
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	◎	◎	◎	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 内容の程度が生徒の発達に即しており、その実態に応じるよう配慮がなされているか。	◎	○	○	◎	○
	(2) 生徒の生活経験や地域性と結び付いた問題の解決に生かすことができるとともに、理科の見方・考え方を働かせながら探究の力を身に付ける展開の仕方への工夫がなされているか。	◎	○	◎	○	○
	(3) 生徒が興味・関心をもち、主体的・対話的に探究できるような配慮がなされているか。	◎	◎	○	○	○
	(4) 例示された観察・実験の方法や図が適切で正確であり、かつ安全性への配慮がなされているか。	◎	○	○	○	◎
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の学習意欲を高めるよう配慮がなされているか。	◎	○	○	◎	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 目標に照らして、単元の構成や配列が工夫されているか。	◎	◎	◎	◎	○
	(2) 「理科の見方・考え方」を働かせ、問題を科学的に解決することができるように、内容や単元の関連性や連続性、系統性が図られているか。	◎	○	○	◎	○
	(3) 理科で育成を目指す資質・能力を身に付けることができるよう、主体的に取り組み、事象や自然と対話し、互いに関わり合いながら、具体的・体験的に学習が行えるように展開が工夫されているか。	◎	○	◎	◎	○
	(4) 観察・実験、ものづくりなどが、安全面や自然環境に配慮した位置付けになっているか。	◎	◎	◎	◎	◎
	(5) さし絵・写真・図表等の内容が適切かつ正確であり、指導に生かせるものになっているか。	◎	○	◎	○	◎
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がされているか。	◎	◎	◎	◎	◎
4 全体的な特色	(1) 選択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	◎	○	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [理科]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	探究の過程に直結した活動が段階ごとに示されており、観察・実験を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるように工夫がなされている。図や写真が鮮明かつ大きく見やすく、興味を引いて追究意欲が高まるように工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1)	既習事項や関連する内容を「これまでに学んだこと」で示され、他教科の学習内容もQRコードで載っており、生徒の実態に合わせて関連付けて学ぶことができるように工夫がなされている。
	(2)	レッツスタート(問題発見)から課題、仮設(予想)、構想、実験、分析解釈、結論、活用のように教科書の流れと生徒の思考の流れと連動しているため、安心して授業に参加することができるように工夫されている。
	(3)	思考する場面に、対話例を効果的に位置づけ、生徒のつまずきへの支援と共に、対話的な活動を促すよう工夫がなされている。
	(4)	注意事項が視認性の高いマークで示されており、初めて使用する実験器具では、その都度細かな説明の欄が設けられている。また、QRコードを用いた解説の動画でも安全に実験や観察ができるように示されている。
	(5)	AB版で写真やグラフ等の図版と文章のバランスが良く、改行までの文字数が増えたことで読みやすくなっている。紙質もめくりやすく、光の反射も少なく全ての生徒が見やすくなるように配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1)	教材の入手時期や、既習事項との連続性や発展性を考慮して単元配列がなされている。また、単元・章の初めと終わりにBeforeとAfterが設定されていて、自分の考えの変容がわかる工夫がなされている。
	(2)	問題の発見や構想、分析解釈などの場面で、働かせたい「理科の見方・考え方」が示され、科学的な解決や深い学びにつながるように配慮がなされている。
	(3)	見開きの授業時数が1時間になるように編集され、その中で育む資質・能力がページ下部の「探究のステップ」と対応するよう工夫がなされている。
	(4)	観察・実験の手順が上から下へわかりやすく示されていたり、注意点が赤で示されたりするなど、観察・実験が安全に実施できるよう配慮がなされている。
	(5)	身近なものを対象とした図や写真・コラムを掲載したり、QRコードのシミュレーションでは視覚的な支援があったり、日常生活と理科とのつながりを実感しやすくなるよう工夫がなされている。
	(6)	学習問題に対する考えを自分の言葉でまとめ、章末で示された記述例との比較により、評価に生かせるように工夫がなされている。
4 全体的な特色	(1)	導入の場面で、身近な事象を紹介するなど問いを見いだし、主体的に探究する力が育まれるように工夫がなされている。また、QRコードが豊富にあり、個別最適な学びにつながる工夫がなされている。

教科名	発行者	教科書名
音楽 (一般)	(株) 教育芸術社	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3 上 中学生の音楽 2・3 下

上記発行者の教科書を選定した理由

・学習指導要領の趣旨に則り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫がなされている。また、見通しをもって学習を進めることができるように学習目標や活動例が示されている。

・「学びのコンパス」で、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの活動が示され、手順に沿って学習を進めることで、主体的・対話的で深い学びが、手順に沿って学習を進めることで、段階を追って学習を深められるよう工夫がなされている。

・表現と鑑賞がバランスよく配置され、目次に続くページに年間の学習内容を見通せるよう工夫がなされている。掲載されている各楽曲への理解が深まるよう、さまざまな角度からの資料が工夫されている。また、題材ごとに学習のポイントを示すイラストと吹き出し等により、生徒が主体的に学べるよう工夫がなされている。

・学年ごと発達段階に応じて、資質・能力を無理なくはぐくめるよう学習内容が配列され、各教材には、考えたいポイントを「問いかけ」の形で、掲示板のイラスト内に示すことで、生徒が課題意識をもち、主体的に学習に取り組み、「音楽的な見方・考え方」を働かせられよう工夫がなされている。

・各教材の学習目標がページの左に、その目標に迫るための具体的な学習活動を楽曲タイトルの下に示すことで、生徒が活動を振り返りやすいよう工夫されている。楽曲から知覚・感受したことや学習内容を書き込めるようになっており、学習の振り返りができるよう工夫がなされている。また、「学びのコンパス」の二次元コードからワークシートがダウンロードでき、学習のまとめができるよう工夫がなされている。

I 調査表 中学校 [音楽 (一般)] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社	
		教 出	教 芸
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 楽曲や音楽活動の程度が学年の発達段階に応じるよう配慮がなされているか。	○	◎
	(2) 生徒の興味・関心にそって音楽活動がなされ、楽曲への理解が深まるような展開の工夫がなされているか。	◎	◎
	(3) 生徒の主体的・創造的な音楽活動に必要な配慮がなされているか。	○	◎
	(4) 生徒が多様な音楽活動を楽しみながら、楽曲のよさや美しさを感じ取ることができるような工夫がなされているか。	○	◎
	(5) 全ての生徒にとって見やすいよう、楽譜、さし絵、写真、配色等が鮮明で、音楽を視覚化して表すよう工夫がされる等、学習への意欲を高め、内容の理解を深めるよう配慮がなされているか。	○	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 基礎的・基本的な内容が無理なく身に付くよう系統的な題材配列がなされているか。	○	◎
	(2) 内容の関連や発展を生かした学習展開の工夫がなされているか。	◎	◎
	(3) 主体的に取り組みながら「音楽的な見方・考え方」を働かせ、相互に関わり合いながら、多様な音楽活動を体験できるよう工夫がなされているか。	○	◎
	(4) 地域の特性や生徒の生活経験及び、個人差に応じた指導ができるような弾力性をもっているか。	○	◎
	(5) さし絵、図表、写真等が学習展開に有効に活用できるよう工夫がなされているか。	○	◎
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	○	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準 1 ～ 3 の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校〔 音楽（一般） 〕

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・歌唱、鑑賞、創作の関連をもたせながら学習できるよう構成され、音楽的な味方・考え方を働かせながら目標が達成できるよう配慮されている。（教出） ・音色、リズムなどの音楽を形づくっている要素と題材の関連が提示され、音楽的な見方・考え方を働かせながら目標が達成できるよう配慮されている。（教芸）
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1)	・両社とも、各学年の目標や内容に対応した教材が取り上げられ、資質・能力を育みながら学びが深まるよう構成されている。 ・発声などを扱うMy Voiceや創作活動、指揮の学習が3年間を通して扱われており、発達段階に応じて学習できるよう配慮がなされている。（教芸）
	(2)	・両社とも書き込めるワークシート形式が設定されており、二次元コードからダウンロードすることもできる。 ・「Active!」では、主体的・対話的で深い学びのための活動例が示されている。（教出） ・「学びのコンパス」で、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの活動が示され、手順に沿って学習を進めることで、主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている。（教芸）
	(3)	・両社とも写真や挿絵がふんだんに使われていて、興味や関心がもてるような工夫がされている。 ・楽曲への理解が深まるように、さまざまな角度からの資料が工夫されている。また、題材ごとに学習のポイントを示すイラストと吹き出し等により、生徒が主体的に学べるよう工夫がなされている。（教芸）
	(4)	・両社とも、表現（歌唱・器楽・創作）、鑑賞の幅広い活動を関連付けて学べるような配置が工夫され、生徒が様々な音楽活動を楽しみながら、楽曲の良さを感受できるような工夫がなされている。 ・鑑賞では、多様な音楽が配置され、写真や説明で理解を深め、聴き比べる活動や体験する活動を通して、実感を伴いながら音楽のよさを味わうことができるよう工夫がなされている。（教芸）
	(5)	・両社とも、UDフォントを使用、ユニバーサルデザインへの配慮がなされている。楽譜、文字、写真、図評等は発色もよく鮮明で、学習意欲を高めるための工夫がされている。 ・情景を想起できる写真や資料が多く掲載されており、学習目標、活動文、音楽を形づくっている要素の三つを統一した色とレイアウトで紙面構成され、一目で分かるよう配慮がなされている。（教芸）
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	・両社とも、発達段階に合わせて、基礎的・基本的な内容が無理なく身につくよう系統的に扱えるような題材が工夫されている。 ・ねらいを明確化した教材や効果的な選曲により、生徒の発達段階に応じて資質・能力を育むことができるよう題材が配列されており、系統的に学習できるよう配慮がなされている。（教芸）
	(2)	・両社とも、表現（歌唱・器楽・創作）、鑑賞、それぞれの活動や領域の関連や発展を生かした学習展開を考慮して配列されている。 ・「Active!」では、同じ音楽を形づくっている要素同士を比べる活動により、段階的に学べるよう工夫がなされている。（教出） ・「学びのコンパス」のページを手順に沿って学習を進めることで、段階を追って学習を深められるよう工夫がなされている。（教芸）

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(3)	・両社とも、巻頭ページで、各界で活躍するかたからの中学生へのメッセージとして、音楽や芸術と自身との関りについて語っており、「音楽的な味方・考え方」の育成をねらっている。 ・各教材で、考えたいポイントを「問いかけ」の形で、掲示板のイラスト内に示すことで、生徒が課題意識をもち、主体的に学習に取り組み、「音楽的な見方・考え方」を働かせられよう工夫がなされている。（教芸）
	(4)	・両社とも二次元コードを活用することで、学習をサポートする演奏見本やワークシート、解説文等のデジタルコンテンツ、創作ツール（教芸のみ）にアクセスでき、個別最適な学びや協働的な学びが実現できるよう工夫されている。 ・地域の文化に親しむことができるよう、全国各地の郷土に伝わる民謡や郷土の祭りや芸能が取り上げられている。（教芸）
	(5)	・両社とも、生徒の興味を惹くような写真やさし絵が使われている。 ・多様な音楽活動の写真や、吹き出しを入れることにより、幅広い音楽の価値観を学びながら、言語活動や協働的な学びの手助けとなるよう工夫がなされている。（教芸）
	(6)	・両社とも、各教材の学習目標がページの左に、その目標に迫るための具体的な学習活動を楽曲タイトルの下に示すことで、生徒が活動を振り返りやすいよう工夫されている。 ・楽曲から知覚・感受したことや学習内容を書き込めるようになっており、学習の振り返りができるよう工夫がなされている。また、「学びのコンパス」の二次元コードからワークシートがダウンロードでき、学習のまとめができるよう工夫がなされている。（教芸）
4 全体的な特色	(1)	・表現と鑑賞がバランスよく配置され、目次に続くページに年間の学習内容を見通せるよう工夫がなされている。「ICT活用」「SDGs」「道徳教育、人権教育」「個別最適な学び、協働的な学び」「国際理解」「我が国や郷土の伝統音楽」など、学校教育における今日的な課題に対応する工夫や配慮がなされている。（教芸） ・生活や社会における音楽の役割についてのページや、我が国や郷土の伝統音楽についてのページが充実しており、音楽文化と主体的に関わっていく態度を養えるよう工夫がなされている。 ・その教材でどのような力が付くのかを示され、生徒が見通しをもって学習することができるよう工夫がなされている。（教芸）

教科名	発行者	教科書名
音楽 (器楽)	(株) 教育芸術社	中学生の器楽

上記発行者の教科書を選定した理由

- ・楽器ごとに学習のねらいを示し、音色やリズムなどの「音楽を形づくっている要素」をわかりやすく表記するなど工夫されている。
- ・各楽器の演奏準備、奏法が詳細に示され、音楽表現をするために必要な技能を段階的に身に付けられるよう配慮がなされている。
- ・どの楽器も持ち方、姿勢、チューニング等基礎的な事項を丁寧に扱った上で、徐々に曲の難易度が上がる教材が配列されており、無理なく系統的に学んでいけるよう配慮がなされている。
- ・リコーダーの楽曲は、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーのどちらでも学習できるように楽曲が掲載され、平易な練習曲から練習できるように工夫されている。
- ・各楽器の基本を学んだ後、「アンサンブルセミナー」で発展的内容を扱い、「音楽的な見方・考え方」を働かせながら、対話的・協働的に表現を深めることができるよう工夫がなされている。
- ・「学びのコンパス」で、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの活動が示され、手順に沿って学習を進めることで、主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている。
- ・実態に応じた選択可能な楽譜の提示、二次元コードを読み取ることによって、音源や動画資料を活用できたり、ワークシートをダウンロードして活用できたり、個別最適な学びをサポートできるよう工夫されている。

I 調査表 中学校 [音楽（器楽）] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社	
		教 出	教 芸
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1) 楽曲や音楽活動の程度が学年の発達段階に合ったよう配慮がなされているか。	○	◎
	(2) 生徒の演奏技能に応じ、意欲的に器楽学習へ取り組めるよう配慮がなされているか。	○	◎
	(3) 生徒の主体的・創造的な音楽活動に必要な配慮がなされているか。	○	◎
	(4) 生徒が多様な音楽活動を楽しみながら、楽曲のよさや美しさを感じ取れるよう工夫がなされているか。	○	◎
	(5) 全ての生徒にとって見やすいよう工夫され、楽譜、さし絵、写真、配色等が鮮明で、学習への意欲を高め、学習活動に役立つよう配慮がなされているか。	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 基礎的・基本的な内容が無理なく身に付くよう系統的な題材配列がされているか。	○	◎
	(2) 楽器や演奏形態に応じて内容が精選されており、他分野・他領域との関連を図れるよう工夫がなされているか。	○	◎
	(3) 主体的に取り組みながら「音楽的な見方・考え方」を働かせ、相互に関わり合いながら、多様な音楽活動を体験できるよう工夫がなされているか。	○	◎
	(4) 施設・設備や環境に即応し、地域の特性や生徒の生活経験及び、個人差に応じた指導ができるような弾力性をもっているか。	○	◎
	(5) さし絵、図表、写真等が学習展開に有効に活用できるよう工夫がなされているか。	◎	◎
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	○	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [音楽（器楽）]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・楽器ごとに学習のねらいや身に付けたいポイントが示され、演奏方法のポイントや「+深めよう」では学習のまとめとなる曲が示され、深い学びができるよう工夫されている。（教出） ・楽器ごとに学習のねらいを示し、音色やリズムなどの「音楽を形づくっている要素」をわかりやすく表記するなど工夫されている。（教芸）
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1)	・両社ともさまざまな楽器の奏法や基本技能をわかりやすく説明している。基礎的な練習曲から、さまざまな編成や難易度のアンサンブル教材まで、段階を踏んで無理なく取り組めるよう工夫されている。 ・平易な技術で演奏できる曲から掲載される等、中学生の発達段階に応じて学習を進めていけるよう配慮がなされている。（教芸）
	(2)	・両社ともさまざまな楽器の奏法や基本技能をわかりやすく説明している。基礎的な練習曲から、さまざまな編成や難易度のアンサンブル教材まで、段階を踏んで無理なく取り組めるよう工夫されている。 ・生徒が初めて取り組む楽器においても、小学校での学びを生かして、無理なく取り組むことができるよう配慮がなされている。（教芸）
	(3)	・両社とも基本的な技能の習得を無理なくできるよう、教材に配慮がなされている。 ・生徒が初めて取り組む楽器においても、既習と関わらせながら取り組むことができるよう工夫されている。（教芸）
	(4)	・両社とも写真や挿絵がふんだんに使われていて、興味や関心をもてるような工夫がされている。 ・楽器ごとに参考曲やさまざまな演奏形態の写真が提示されていたり、創作の学習が設定されていたりと鑑賞と表現を一体化させながら多様な音楽活動が実現できるよう工夫がなされている。（教芸）
	(5)	・判読性、視認性の高い配色がなされたレイアウトや、ユニバーサルデザインフォントの使用により、可読性・可視性を高められるよう配慮がなされている。（教出） ・ユニバーサルデザインフォントの使用、識別しやすい配色等、全ての紙面、図版、イラストについて、可読性、可視性を高められるよう配慮がなされている。（教芸）
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	・両社とも、学習手順が分かりやすく示され、学習内容を段階的に学べるよう配慮することで、生徒が無理なく技術を身に付けられるよう工夫されている。 ・どの楽器も持ち方、姿勢、チューニング等基礎的な事項を丁寧に扱った上で、徐々に曲の難易度が上がる教材が配列されており、無理なく系統的に学んでいけるよう配慮がなされている。（教芸）
	(2)	・両社とも楽器や演奏形態に応じて様々なジャンルから楽曲が選曲されている。リコーダーでは、アルトリコーダーを導入しない場合に、ソプラノリコーダーだけでも演奏できる選曲の工夫がされている。 ・学んだ作品を楽器で演奏できるよう楽譜が示され、既習の学びを生かせるよう工夫がなされている。（教芸）

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(3)	・各楽器の基本を学んだ後、「アンサンブルセミナー」で発展的内容を扱い、「音楽的な見方・考え方」を働かせながら、対話的・協働的に表現を深めることができるよう工夫がなされている。 「学びのコンパス」で、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの活動が示され、手順に沿って学習を進めることで、主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている。（教芸）
	(4)	・実態に応じた選択可能な楽譜の提示、二次元コードを読み取ることによって、音源や動画資料を活用できたり、ワークシートをダウンロードして活用できたり、個別最適な学びをサポートできるよう工夫されている。（教芸）
	(5)	・各題材の最後にある「まとめの曲」において、学習のポイントを評価の観点として自己評価しながら演奏し、学習のまとめをすることができるよう工夫がなされている。（教出） ・楽器の構え方や奏法などがわかりやすい写真やさし絵が使われており、生徒がイメージをもちながら取り組めるよう工夫がなされている。（教芸）
	(6)	・両社とも学習目標や活動文が示されており、自己評価しながら学習を進めることができるよう工夫がなされている。・学習問題や「演奏のポイント」「練習のポイント」等が記載され、自己評価をしながら学習を進めることができるよう工夫がなされている。（教芸）
4 全体的な特色	(1)	・両社とも、各楽器の基礎から多彩な組み合わせによるアンサンブル、技能に応じた応用まで系統的にバランスよく取り上げている。歌唱・創作・鑑賞の各学習活動との関連にも配慮され、学校の実態を踏まえて選択できるように工夫されている。 ・演奏家の写真やメッセージに加え、さまざまな演奏場面等を掲載し、楽器に興味をもったり、生活や社会における音楽の役割を意識したりしながら学習できるよう工夫がなされている。（教芸）

教科名	発行者	教科書名
美術	日本文教出版（株）	美術 1 美術 2・3 上 美術 2・3 下

上記発行者の教科書を選定した理由

中学校美術の授業は、「生徒が造形的な視点をもとに、探究的に追求できるようにすること」「生徒が学びを実感できること」が大切である。

本教科書は、作品の横に作者が作品に込めた思い、材料とのかかわり方の工夫や視点を変えることによる見方や感じ方の違い、生徒のアイデアを練る過程、生徒と作家の作品が示されている。そのため、生徒が発想の手がかりを掴みやすい。授業者は、生徒の意識の流れを予想しながら題材展開を構想したり、ねがいにせまる手だてをを考える上で参考になると考える。ICTを利用した短時間題材も示され、発想や構想に関する資質・能力の育成を重点にする題材を構想する上でも参考になる。また、各題材見開き 1 ページの中に、次の①から⑤が位置付けられている。

- ①表現への意欲をかきたてる鑑賞（QRコードを読み込むと関連動画が視聴できる）
- ②表現への必要感をもたせる問い
- ③追求するために着目する造形的な視点の確認
- ④学びの実感を促す鑑賞
- ⑤生活の中での活用

これらにより、問い→追求→鑑賞（振り返り）→次への意欲と、生徒が自身の学びの高まりを実感できるように構成され、美術の目標である心豊かな生活を創造していく生徒の育成につながることを期待できる。

以上のことから、上記教科書を選定した。

I 調査表 中学校 [美術] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社		
		開隆堂	光村	日 文
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	○	○	○
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 題材の造形的、技能的な内容が生徒の発達段階に適するよう配慮され、個人差に応じた幅をもっているか。	○	◎	◎
	(2) 生徒がイメージを豊かにふくらめながら造形活動をするよう学習活動に工夫がなされているか。	○	◎	○
	(3) 生徒の興味・関心・意欲を高め、主体的・対話的に活動できるよう、題材や導入の工夫がなされているか。	◎	○	◎
	(4) 用具の使い方など安全性への配慮がなされているか。	◎	◎	◎
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で、創作への意欲を高めるよう配慮がなされているか。	◎	◎	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 領域の目標に即し、基本と発展を考慮し、全学年を通して、関連的・連続的に扱える題材配列になっているか。	○	○	◎
	(2) 表現と鑑賞を相互に関連させた指導ができるよう工夫がなされているか。	○	○	◎
	(3) 主体的に活動をしながらか「造形的な見方・考え方」を働かせ、相互に関わり合いながら、主題や表現方法について考え、作品などに対する見方や感じ方などを広げ、深められるよう配慮がなされているか。	○	○	◎
	(4) 思いを具体的に表現するために必要な、技法、技術や材料、用具に関する資料や解説は適切であるか。	◎	◎	◎
	(5) 学習を豊かにし、個に応じた表現を助ける資料として、図版、写真等が多面的で、生徒の学習展開にとって適切なものになっているか。	◎	○	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	○	○	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○	◎

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [美術]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	生徒が3年間で学びを深め、生活や社会とのかかわりが深められるよう題材が配置されている。また、造形的な視点が位置付けられ、どのような生徒も自分がもった造形的な視点で試行錯誤できるよう配慮されている。(日文)
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1)	用いる道具の使い方が小学校の学習とのつながりを大切にして、丁寧に確認され、生徒の発達の段階に合うよう配慮されている。また、表現のテーマが学年が進むにつれて発展的あるいは焦点化され、既習を生かして学んでいけるよう配慮されている。(日文)
	(2)	各社とも、生徒の発想した根拠やアイデアを練った過程が示され、生徒が多様な発想ができるよう題材との出会わせ方や題材展開が工夫されている。
	(3)	すべての題材において、導入時に鑑賞が位置付けられ、造形的な視点をもとにした問いかけなされている。また、生徒が興味をもてるような動画が位置付けられられている。これらにより、生徒の対話が促され、主体的な学びに導く配慮がされている。(日文)
	(4)	各社とも、道具の使い方を確認する資料が、巻末資料や別冊資料として位置付けられ、材料や用具の安全で適切な扱いができるよう、見やすいレイアウトでまとめられている。
	(5)	各社とも、図柄や文字の色が、読みやすいもので統一されている。参考作品の大きさも、作者の工夫が読みとれたり、原寸大で作品の大きさが分かり、生徒が興味をもてたりするよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1)	各社とも、すべての題材に、育成を目指す資質・能力に合わせた目標が示されている。また、各学年の学習内容に合わせて、発想や構想をする視点が発展的あるいは焦点化されており、系統的な学びができるよう配慮されている。
	(2)	すべての題材において、導入時に鑑賞が位置付けられ、表現する必要感がもてるよう工夫されている。また、題材の最後にも振り返りとしての鑑賞が位置付けられ、表現と鑑賞を一体的に扱えるよう工夫されている。(日文)
	(3)	題材の最初に造形的な視点をもとにした問いかけがあり、個々の生徒が造形的な視点をもって追求できるよう工夫されている。また、生徒が見方や感じ方を広げていけるよう、QRコードを読み込んで多様な作品を比較鑑賞できるよう工夫されている。(日文)
	(4)	各社とも、巻末資料や別冊資料で、材料や道具の扱い方が丁寧に説明されているだけでなく、生徒が発想を広げたり、興味をもてたりするよう、材料の加工の仕方や道具の動かし方による表現の効果やその違いも示されている。
	(5)	各社とも、生徒作品や作家の作品、海外の作品、多様な人の考え方が掲載され、多様な見方や感じ方ができるよう配慮されている。また、生徒の追求する手がかりとなるよう、作者の作品へ込めた思いやアイデアを練った過程が示されている。
	(6)	造形的な視点が題材の目標に位置付けられ、題材末の鑑賞の中で、その視点で自分の表現の過程や学びによる成長を振り返ることができるよう工夫されている。(日文)
4 全体的な特色	(1)	題材見開き1ページの中に、鑑賞と表現が位置付けられ、問い、追求、鑑賞までの生徒の学習の高まりがわかるよう構成されている。また、学年ごとの題材で3分冊で構成され、発達の段階に応じた学年毎に取り組む題材が分かりやすいよう工夫されている。(日文)

教科名	発行者	教科書名
技術・家庭 (技術)	東京書籍（株）	新しい技術・家庭 技術分野

上記発行者の教科書を選定した理由

○各社とも、生活との関係性を重要視し、生徒が学習の必要感を持ちやすくなるよう工夫されている。また、学習の目当てや目標の設定をしたり、振り返りの視点を示したりするなど、生徒の自主的な学習を促したり、授業者が授業をしやすくなったりするような工夫がされている。さらにデジタルコンテンツも充実しており、補助資料として、授業で扱う際の利便性が高められている。そのため各社優劣は付けがたいが代表的な理由は以下の通り。

①他社と違い、電気回路のシミュレーションコンテンツがある。実物でシミュレーションするには購入費用がかかったり、ケガをしたりする可能性を排除できないため、有効なコンテンツであると言える。

②現行の指導要領になって新設された「統合的な問題解決」の実践事例が、指導者にとっても学習者にとっても具体的でわかりやすい。写真も多く、生徒が問題解決のイメージを想起しやすくなっている。

③章末に「大切な用語の確認」がある。用語が掲載されているページも記されているので、確認が確実かつ容易にでき、基礎事項の定着を図りやすい。

④指導者用デジタル教科書から、ボタンをクリックするだけで、すぐに映像資料を閲覧することができる。シームレスな指導が可能となり、生徒の意欲や意識が途切れることがない。

⑤巻頭のガイダンス資料において、身近な道具や事例をもとに「技術は夢をかなえるためにある」や「工夫・創造の力が技術を支える」と題したページがあったり、漫画で「技術の見方・考え方」を示したりするなど、学習への意欲を喚起したり、興味を引いたりするような工夫がされている。

I 調査表 中学校 [技術・家庭（技術）] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社		
		東書	教図	開隆堂
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	○	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 生徒の発達段階や生活実態等に配慮した題材配列になっているか。	○	○	○
	(2) 生活や社会の中から問題を見だし、生活を工夫し創造できるよう、題材構成の工夫がなされているか。	◎	○	○
	(3) 生徒が興味・関心をもって追究し、生活を実感的にとらえられるよう配慮がなされているか。	○	○	◎
	(4) 材料と加工の技術、生物育成の技術、エネルギー変換の技術、情報の技術の内容構成において、安全面や衛生面への配慮がなされているか。	○	◎	○
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の意欲を高めるよう配慮がなされているか。	◎	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるように組まれているか。	○	○	◎
	(2) 生徒の生活や社会との関連性、社会変化への対応に配慮した題材の配列となっているか。	○	○	○
	(3) 「技術の見方・考え方」の視点で生活事象を捉え、主体的に相互に関わりながら活動できるよう、生徒の実態にあわせた題材の取扱いがなされているか。	◎	◎	○
	(4) 題材が集団や個別で学ぶ内容、社会との連携に発展する内容で構成されているか。	○	○	○
	(5) さし絵・写真・図表等の内容が適切かつ正確であり、時代の進展に応じる内容上の配慮がなされているか。	◎	○	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	◎	○	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	○

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [技術・家庭科（技術）]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・多様な問題解決例を数多く取り上げ、個々の課題設定や課題解決に生かすことができるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1)	・身の回りの問題解決から社会の問題解決まで、基礎・基本から応用・発展へと学べるよう、単元構成の工夫がなされている。
	(2)	・「問題解決例」や「社会の発展と技術」等の身近な例から、生活を工夫し創造することができるような題材構成の工夫がなされている。
	(3)	・「最適化の窓」「技術の工夫」などの身近な例を掲載し、興味・関心をもった追究ができるよう工夫がなされている。
	(4)	・実習中の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、ガイダンスや「安全」マーク、「衛生」マークで記し、安全面・衛生面への配慮がなされている。
	(5)	・挿絵・写真・図表・配色等が鮮明で、本文はユニバーサルデザインフォントを使用している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1)	・ガイダンスで、3年間で身に付く資質・能力について、小学校の学習や、他教科との関連がつかめるよう配慮がなされている。
	(2)	・生活や社会と技術の関りや、「すごいぞ！技術」で各内容に関連する最先端の技術を紹介することで、生活との関連性や社会変化に対応した技術に関心をもてるよう配慮がなされている。
	(3)	・各編の導入において、身の周りの製品や社会における技術の最適化について取り上げ、「技術の見方・考え方によって、既存の技術の工夫を読み取ることができるよう配慮がなされている。
	(4)	・個別に調べたり他者と学び合ったりする場面を設定することで、原理、技術の工夫について他者と関わり合いながら主体的に学ぶことができるよう配慮がなされている。
	(5)	・挿絵・写真・図表等の内容は適切で、文章と関連をもたせた構成になっており、随所に二次元コードを配置することで、具体的に学習を広げられるよう配慮がなされている。
	(6)	・節の冒頭に観点別評価につながる目標を示し、編末には評価の観点に沿った設問を掲載することで、生徒が身に付けた資質・能力を確認できるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	(1)	・指導者用デジタル教材におけるコンテンツ掲載数が412本と群を抜いて多い。さらに、電子回路などをシミュレーションできる機能がついている。また、カリキュラムマネジメントの視点から、他教科の教科書内容を閲覧することができる。

教科名	発行者	教科書名
技術・家庭 (家庭)	東京書籍 (株)	新しい技術・家庭 家庭分野

上記発行者の教科書を選定した理由

○各社とも、生活との関係性を重要視し、生徒が学習の必要感を持ちやすくなるよう工夫されている。また、学習の目当てや目標の設定をしたり、振り返りの視点を示したりするなど、生徒の自主的な学習を促したり、授業者が授業をしやすくなったりするような工夫がされている。さらにデジタルコンテンツも充実しており、補助資料として、授業で扱う際の利便性が高められている。そのため各社優劣は付けがたいが代表的な理由は以下の通り。

①題材の配列が、衣食住の自立的な内容から家族と家庭生活の共生への発展的な学習配列となっていることから、個を意識した現在の生活から、他者を意識した将来へつながる生活へと、系統的に学習を進めることができる。

②「生活の営みに関する見方・考え方」を働かせる発問『レッツ スタート』を設けて、生徒が実生活に照らし合わせて自分事として考えられるようになっており、主体的に相互に関われるような学習場面を設定しやすい。

③食生活の学習で最も頻繁に使う「6つの基礎食品群」の資料が、見開きで厚紙に印刷されており、ハードユースに耐えられる作りになっている。

④章末に「大切な用語の確認」がある。用語が掲載されているページも記されているので、確認が確実かつ容易にでき、基礎事項の定着を図りやすい。

⑤QRコンテンツの数が373と他社と比較して多く、内容も動画や思考ツールなどがわかりやすくとり入れられていて充実している。

⑥掲載されている写真、資料、イラスト等の質・量ともに他社と比較して適切である。

I 調査表 中学校 [技術・家庭（家庭）] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社		
		東書	教図	開隆堂
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	○	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 生徒の発達段階や生活実態等に配慮した題材配列になっているか。	◎	○	○
	(2) 生活や社会の中から問題を見だし、生活を工夫し創造できるよう、題材構成の工夫がなされているか。	◎	○	○
	(3) 生徒が興味・関心をもって主体的・対話的に追究し、家庭生活を実感的にとらえられるよう配慮がなされているか。	◎	◎	◎
	(4) 家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境の内容構成において、安全面や衛生面への配慮がなされているか。	◎	○	○
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の意欲を高めるよう配慮がなされているか。	◎	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるように組まれているか。	◎	◎	◎
	(2) 生徒の家庭生活や地域の行事等の関連に応じられるように配慮がなされているか。	◎	◎	◎
	(3) 「生活の営みに係る見方・考え方」の視点で生活事象を捉え、主体的に、相互に関わりながら活動できるよう、生徒の実態に合わせた題材の取扱いがなされているか。	◎	◎	◎
	(4) 題材が集団や個別で学ぶ内容や家庭との連携に発展する内容で構成されているか。	◎	◎	◎
	(5) さし絵・写真・図表等の内容が適切であり、また、時代の進展に応じる内容上の配慮がなされているか。	◎	◎	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	◎	◎	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準 1～3 の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	◎	○

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [技術・家庭科（家庭）]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由
1 教科の目標からの配慮	(1) ・ ガイダンスや各単元の導入で、見方・考え方の例示や毎時間の授業での学習課題と学習問題が明確になっている。目標(1)(2)の内容が明確である。特にQRコードがほぼ全ページにつけられており学習内容を確認に使うことができ、生徒自ら調べて追究する活動ができるようになっている。 ・ 学習の始めに、必ず目標、「レッツスタート」学習課題があり、始めるところで、自分の生活や経験を振り返ることができる。 他は、めあて、目標や自分を振り返るところはあるが、課題までであると、何を学習していくかがわかりやすく、授業を進めやすい。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) ・ 題材の配列が、衣食住の自立的な内容から、家族と家庭生活の共生への発展的な学習配列となっている。 ・ 食生活から始めていて、生徒が小学校からの流れで、興味をもって始めることができ、そこから家族につなげ、最後、消費生活を通して将来にもつながる学習の流れになっている。 (2) ・ QRコードが各所にあり、見たい時に生徒自ら見れ、生徒の関心意欲を持てるようになっている。 ・ 「レッツスタート」で自分の生活と向き合い、学習課題につなげていくため、自分の生活を中心に考えながら生活をよりよくしていこうと考える内容につながる工夫がある。 (3) ・ 考えてみよう→やってみよう⇒調べてみよう。生徒自ら主体的な活動ができるような構成になっている。 ・ 全体的に、生徒が興味をもちそうなさし絵や写真などが多い。説明に用いられている写真やさし絵、コントラストなども目にやさしく、見やすい。また、調理など焼く時間を1分から1分半など細かな説明も具体的でわかりやすい。QRコードの読み取りで、教師の説明だけでなく、実際の映像などを使ってその場で確認できる工夫がある。 (4) ・ 各社ともに、安全面や衛生面への配慮はマークを統一して見つけやすいようになっている。 (5) ・ 単元ごとに色分けされており、重要語句は同色で大きく太く表示してありわかりやすい。 ・ 食品実物大であり、6つの食品群の1日の分量目安になっていて良い。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) ・ 各社ともに、リンクマーク・関連マーク・他のページと他教科や小学校との関連マークなどを使って学習指導要領の内容が関連もって学習できるように配慮されている。 他教科とのつながりがわかるようになっていて工夫されている。 (2) ・ 資料や生活メモなどにより家庭生活や地域の行事等の関連に配慮されている。 ・ 地域食材の紹介や日本の伝統文化などの紹介など、実際の写真等を用いてわかりやすく解説されている。「先輩からのエール」で具体的な話がわかる。 (3) ・ 「生活の営みに関する見方・考え方」を働かせる発問『レッツ スタート』を設けて、実践的・体験的な活動を通して主体的に相互に関われるような題材の扱いである。 (4) ・ 学習課題があり、その内容を中心に、個人追究や全体追究で取り上げていくことができる。キャラクターのつぶやきのところで、共通の課題追究ができる。 (5) ・ 6つの基礎食品群の見開くページが厚くできており、開きやすく工夫されている。 ・ QRコードで、動画等も確認でき、過去のことも振り返り、現在の様子なども知ることができる。他社は、写真や資料が多かったり、また、具体的に知りたいことについては、言葉での説明であるなど、情報量の多さや、読まなければ情報が入らないところが厳しい生徒が多いので、読み取りに苦労するように感じる。

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
	(6)	・各社ともに単元の末尾に学習のまとめや振り返りがあり、単元で学習した内容を確認することができる。 ・学習のまとめに、重要語句の確認とその語句が説明されているページ数が記入されている。また、生活に生かそうというまとめの項目や自分の家族の生活で改善できることなどを挙げ課題と実践へとつなげている。 ・まとめのところで「大切な用語の確認」があり、それぞれのページも掲載されているので、確認が確実にできる。「生活に生かそう」まであり、学習しただけでなく、自分の生活に生かす工夫まで考えられていてよい。
4 全体的な特色	(1)	・教科書の冒頭には、構成と使い方がしめされており、学習課題からまとめまでの流れを見やすく配列されている。また、教科書全体に使われている安全・衛生マーク、発展・ポイントマークなどの統一された説明があることで、わかりやすい構成となっている。 ・災害やユニバーサルデザイン、SDGsと家庭科分野とのつながりが掲載されていて未来へ向けても発信されている。 ・目標、課題が最初に明確に示されていて、進めやすい。また、製作のページでは、糸の色や、実際の布を使うなど、細かなところまで、実際に製作するときに見やすい写真などが使われている。QRコンテンツがとてもわかりやすく、内容も充実している。 ・各分野での基礎的な内容を確認するために「いつも確かめよう」のページが最後にあることで、確認がしやすくなっている。

教科名	発行者	教科書名
保健体育	東京書籍（株）	新しい保健体育

上記発行者の教科書を選定した理由

各章のタイトル・学習課題・キーワードが一目で分かるように連動して示されており、学習の見通しをもつことができる。

各項ごとに資料（イラスト・写真）が適度に見やすく設けられており幅広い知識と教養を身に付けることができる要素を多く含んでいる。

また、QRコンテンツとして、ワークシートや技能を映像で確認できるものが用意されている。

学んだ知識を活用したり広げたりできるように、他の人の意見を聞いたり考えたことや分かったことを書く活動が設定され、仲間と対話的に課題を解決できるようになっている。

表記や体裁について、本文ではUD教科書体が使用されており、文字の大きさも生徒の発達段階にあったものとなっている。特にキーワードの太文字は他の文字と比べてインパクトがあり認識しやすくなっている。

I 調査表 中学校 [保健体育] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社			
		東書	大日本	大修館	学研
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	○	○	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 分量・内容・程度が生徒の心身の発達段階に応じて配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎
	(2) 生徒の運動経験や学習経験、興味・関心に応じ、主体的・対話的に課題の解決に向けて学習ができるよう工夫がなされているか。	◎	○	○	◎
	(3) 実感を伴う理解が図られるよう、体育分野や保健分野、他教科、生活等への関連について配慮がなされているか。	◎	○	○	○
	(4) 用語の解説や記号、計量単位などが適切で、見出しや文章表現が分かりやすく工夫がなされているか。	○	○	○	○
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で学習意欲を喚起するように配慮がなされているか。	◎	◎	○	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 体育理論では、内容の明確化と体系化が図られているか。保健分野では、心身の健康や安全に関する事項の系統化が図られているか。	○	○	○	○
	(2) 体育理論、保健分野ともに、各内容の配列や関連付けに工夫がみられるか。	◎	○	○	○
	(3) 生徒が「体育や保健の見方・考え方」を働かせながら、主体的に、相互に関わり合いながら活動に取り組めるように、多様な指導方法及び学習形態の工夫がなされているか。	◎	○	○	◎
	(4) 体育理論では、知識の重要性を実感できるように配慮されているか。保健分野では、心身の健康や安全について配慮がなされているか。	◎	○	○	○
	(5) さし絵、写真、図表等の内容が適切で正確であるか。	◎	◎	○	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	◎	○	○	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	○	○

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [保健体育]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科書の目標からの配慮	(1)	・ 日常生活の経験や今まで学んだ知識を基に、新たな学習課題（ねらい）を明確に位置付けられるよう工夫されている。 ・ 課題を解決するための学び方例がいくつか提示されており、子どもたちの学びを深めたり、広めたりできるように工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1)	導入場面での端的な問いかけにより、身近な疑問から興味をもって学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。
	(2)	全ての文字に、読みやすさに優れたユニバーサルデザインフォントが使用されている。本文は明朝体、本文中のキーワードはゴシック体で区別され、大変見やすくなっている。
	(3)	挿絵は、学習事項を的確に表現するとともに、生徒にとって親しみやすいものとなっている。
	(4)	本文ページは、左側本文・右側資料、二次元コードは右下とデザインが固定されており、学習の流れが分かりやすく、迷うことなく安心して学習を進めることができるよう配慮されている。
	(5)	視覚的資料や巻末スキルブックが分かりやすく掲載されており、学習内容の理解が深まるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1)	日常経験などから自他の課題発見につなげる発問が設定され、学習課題を自分のものとし、主体的に課題解決に取り組むことができるよう配慮されている。
	(2)	教科横断的な諸課題について、体育や保健の見方・考え方を働かせて考えることができるように工夫されている。また、共生の視点を重視した、資料、写真、挿絵が随所に掲載されている。（口絵）
	(3)	各単元の活動「広げる」には、学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動が設けられており、さらなる学びへの意欲を喚起するよう工夫されている。
	(4)	各単元の活動「見つける」「学習活動」「課題の解決」「広げる」は、それぞれのステップに応じて思考力、判断力、表現力を育成することができるような発問が設定されており、課題の合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それを表現することができるように配慮されている。
	(5)	保健分野では、現在および将来の生活において、健康に関する課題に対して、科学的な思考と正しい判断をもとに適切な意志決定・行動選択を行い、適切に実践していくことができるよう工夫されている。
	(6)	各章末「学習のまとめ」には章末のQRコンテンツが2種類設けられており、授業支援ソフトなどを活用して書き込んだり、提出したりすることもできるよう配慮されている。
4 全体的な特色	(1)	・ 1単元が1単位時間2ページ構成（見開き1ページ）となっており、見通しをもって主体的に課題解決に取り組めるよう工夫がなされている。 ・ 各章末に章末資料、巻末には巻末スキルブックが示され、学習したことを発展的に深めることができるよう工夫がなされている。

教科名	発行者	教科書名
英語	東京書籍(株)	NEW HORIZON

上記発行者の教科書を選定した理由

1 最も魅力的であると思われる点

・単元の「扉」に単元を貫く「問い」と到達目標、Previewが設定され、すべての生徒にとってUnitで学ぶ内容の見通しをもちやすい配慮がなされている。扉ページの問いを念頭に置きながら、各PartやRead and Thinkにある段階的なActivityを行っていくことで、問いの答えを自分なりに導き出していく工夫がなされている。

2 小中接続の観点から

・どの学年にもUnit0が設定され、前学年までの学習を復習した上で新学年のUnit1を学ぶ構成となっている。小学校や前学年の既習表現や学年末に行った学習をふり返りながら新たな知識・技能を段階的に習得できるような工夫が見られる。特に1学年のUnit0～Unit4までは小学校からの接続期間であることが明瞭に伝わり、小学校で慣れ親しんできた表現を再度聞いたり話したりできるような言語活動が設定されている。また、小学校で習った単語が復習として1学年の教科書に出揃い、既習表現を思い出しながら活用できる工夫が見られ、主体的・対話的な学習を促す要素の一つとなっていると考えられる。

3 4技能5領域を活用する言語活動がバランス良く設定されている。

・各Unitの目的・場面・状況が明確に示されているため、教科書に沿って対話的な言語活動を行うことができる。更に、話したことをもとに自分の考えを書いてまとめる、相手の考えを聞いて自分の考えを深め、新たな表現の獲得につなげるなど、実践的なコミュニケーション能力の育成へと発展させていくことが可能である。

・複数の技能・領域を統合的に活用するStage Activityが学期末に位置づけられている。それに向けたActivity(Unitの途中)→Unit Activity(Unitの終末)の活動を系統的に積み上げていくことで表現の幅を広げ、学習の成果をふり返ることができる。

・Unit→Real Life English→Stage Activityの3つの主要単位により、スモールステップでの知識・技能の習得と活用をくり返ししながら思考力・判断力・表現力の育成を目指すことができる。また、巻末のCan-Do Listと照らし合わせることで、現時点での自分の英語を自己評価することができ、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる。

4 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせることのできる題材

・登場人物の出身地や題材に用いられている国々は、多様な世界の国々や地域であり、彼らの話や制服や普段着など日常のファッションスタイル、生活の様子から異文化理解や多様性、男女のバランスなどさまざまな視点に触れながらものごとを捉える力を育むことが有効である。

・他国との交流、日本の大衆文化、絶滅危惧動物、ユニバーサルデザイン、職場体験学習、東日本大震災、SDGs、原爆、世界遺産、地球市民としてできること、など発達段階に応じた題材が設定されており、思考力・判断力・表現力が培われるような工夫がなされている。

以上の点から、教科の目標からの配慮、生徒の学習活動への配慮、学習指導への配慮が適正になされ、生徒が自信をつけ、教師が新学習指導要領の趣旨に則り指導ができる教科書になっていると評価したため、本教科書を選定した。

I 調査表 中学校 [英語] ◎：特に優れている ○：優れている

採択基準	観 点	出版社					
		東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 内容の程度及び各課の分量が、生徒の発達段階に応じるよう配慮がなされており、適切であるか。	○	◎	○	◎	◎	○
	(2) 実際に英語を使用して、互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動が展開されるよう、題材や内容構成への配慮がなされているか。	◎	◎	◎	○	○	◎
	(3) 生徒の興味・関心・意欲を喚起し、主体的・対話的な学習を促すよう、題材や問題提示に工夫がなされているか。	◎	○	◎	○	○	◎
	(4) 既習事項を活用しながら、音声による言語活動をはじめ、5領域を関連付けた学習ができるよう配慮がなされているか。	◎	○	○	○	◎	○
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の学習意欲を高め、理解や表現を助けるよう配慮がなされているか。	◎	◎	◎	○	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 単元の構成や配列が、目標、内容項目に照らして適切であるか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	(2) 言語材料の配列や、相互の関連付けが適切であるか。また、言語活動をする際に、必要に応じて言語材料について理解したり練習したりするための指導が含まれているか。	◎	◎	◎	○	○	○
	(3) 具体的な課題等が設定され、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に表現することができるよう配慮がなされているか。	◎	○	◎	○	○	◎
	(4) 主体的に取り組みながら、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせて言語活動を行う際、言語の使用場面や言語の働きについて配慮がなされているか。	◎	◎	◎	○	◎	○
	(5) さし絵、写真、図、書体等が適切かつ正確であり、単元のねらいや本文との関連が密接であるか。	◎	◎	○	◎	◎	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	◎	◎	○	○	○

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [英語]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・各社とも、知識・技能を身につけながら思考力・判断力・表現力を養うための段階的な言語活動が行えるよう配慮されている。4技能5領域のバランスも考慮されている。 ・多様な文化的背景をもった登場人物が登場し、彼らの会話や関わりを通して広い視野で物事を捉える力を育み、相手意識に立ちながら最終的に自分は何ができるか、ということを考え続けることができるよう配慮されている。（東書、開隆堂、三省堂）
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	・各社とも、小学校の学びをふりかえることができる聞く・話す活動が中1のはじめに設定されており、スムーズな小中接続を目指していることが伺える。 ・生徒の発達段階に応じて内容の程度及び、各課の分量が適切に配慮されている。本文は3段階に分けて理解を深めることができ、教師が授業を進める際軽重がつけられるとともに、どの生徒も1段階で本文の概要や大意をつかむことができる工夫がなされている。
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(2)	・各社とも、登場人物や本文の内容を表すためのさし絵としてイラストを用いており、生徒の興味・関心を引き出すものとなっている。一方、単元最初の「扉」ページには実際の場所や人、ものなど題材に関係した写真やグラフ、ポスターなどが用いられ、これから学習する本文の内容にリアルさを与え、生徒がイメージを膨らませながら見通しをもって学習できる工夫が見られる。
	(3)	・本文のページは可能な限り配色を押さえ、写真やグラフのレイアウトも適切であり、生徒が集中して本文を読むためのユニバーサルデザインへの配慮がなされている。（東書、啓林、三省堂） ・音読回数を塗りつぶす欄、活動の自己評価欄が設けられ、生徒が主体的に学ぶ工夫がなされている。（東書、開隆堂、三省堂、光村、啓林館）
	(4)	・各社とも1年次は全てのUnitで小学校用の教科書で使用している見やすさや書きやすさに配慮したフォントを使用しており、小学校英語の基礎の定着をていねいにフォローする工夫がなされている。
	(5)	・扉ページ、New WordsやKey Sentencesなど、紙面上のデザインや配置を統一しているため、全ての使用者にとって安心して学習の取り組むことができるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	・各社とも1年次にはあいさつ、知っている人やお気に入りのものを紹介するという小学校の復習からはじまり、3年次には世界の中の自分、未来をつくる一員としての地球市民という発達段階に応じた題材設定が見られる。国際交流、世界遺産、防災教育、環境問題、食の多様性、AIとの共生など、現代的な諸問題やSDGsを意識した題材が用いられている。
「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(2)	・2、3年の教科書では、各単元の扉ページに示されたタイトルが単元を貫く「問い」になっており、生徒が各パートの本文を学びながら単元の到達目標とその問いを行き来しながら思考し、単元終末のUnit Activityで既習表現を用いてアウトプットできるよう段階的な配慮がなされている。
	(3)	東書「Stage Activity」三省堂、教育出版、啓林館「Project」、開隆堂「Our Project」、光村「You Can Do It!」が学期末に行うパフォーマンス課題として位置づけられている。複数の技能や領域を統合した問題解決的な活動が設定されており、思考力・判断力・表現力の育成やコミュニケーション能力の育成を目指すことができるよう工夫されている。
	(4)	・各社ともQRコードからアクセスできる本文や語句の音声を活用でき、個に応じた学び方ができるように配慮されている。 ・協働して問題解決を行う活動やグループでの発表活動などが豊富に仕組まれ、対話的な学びの機会が与えられている。
	(5)	・各社とも巻末資料や本文中にペアやグループで即興でやりとりするためのヒントやコーナーが設定されている。「帯活動用 Small Talk」（東書）「その場でスピーキング Let's Talk」（光村）「Word Web」（開隆堂）「いろいろな単語」（三省堂）、「Think & Try! 活動例」（教育出版）、本文中「Scene」に「Enjoy Chatting」（啓林館）

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
	(6)	・Unitでは目的・場面・状況を意識し、4技能5領域をバランスよく活用できる配慮がなされている。 ・「Real Life English」では、電車の乗り換えや買い物、道案内、病院、機内放送などについて「聞く」「話す（やり取り）」「書く」の技能・領域が焦点的に扱われ、リアルな場面設定のもとで実践的なコミュニケーション力を伸ばす工夫がある。
4 全体的な特色	(1)	・単元のまとまりを重視した学習の流れをつくりやすい構成となっている。スモールステップで言語材料の知識と技能を身につけながら、自分の考えや気持ちを適切に表現していくための工夫がみられる。 ・単元の扉ページに単元を貫く「問い」と単元の到達目標が設定され、生徒が見通しを持ちながら学習できる配慮がなされている。

教科名	発行者	教科書名
道徳	光村図書出版（株）	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき

上記発行者の教科書を選定した理由

・「てびき」で示された「見方を変えて」という切り口を変えた問いから、物事を広い視野から多面的・多角的に捉えることや、「つなげよう」では、他教科や日常生活と関わらせて自己を見つめることができる工夫がされている。

・1年間を通して生徒の成長に寄り添ったユニットで構成されており、生徒にとって学習の見通しがもちやすい。また、同じ内容項目を扱う教材については、各学年の発達段階や生徒の日常生活に合わせて話題や分量を変えるなど、生徒の実態に応じた工夫がされている。

・生徒の興味・関心を喚起する漫画形式の教材や写真、表やグラフ等、提示の方法が多様であり、生徒が教材に引き込まれ、自ら考え追求できる工夫がされている。

・「まなびをプラス」「チャレンジ」「やってみよう」等を設け、与えられた問いに答えるだけではなく、自ら問いを立て、友と協働しながら解決に向かう力を伸ばすことができる工夫がされている。

・字体の使い分けや、本文と学習の「てびき」の区別がはっきりとしている。また、文字が多すぎず、適切な行間が確保されているため読みやすい。

I 調査表 中学校 [道徳] ◎：特に優れている ○：優れている

選定基準	観 点	出版社						
		東書	教出	光村	日文	学研	あか図	日科
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。	◎	○	◎	○	◎	○	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 内容、程度が生徒の発達の段階に応ずるよう配慮がなされているか。	◎	◎	◎	○	○	◎	○
	(2) 関心・意欲を喚起し、道徳的価値の追求に結び付く工夫がなされているか。	◎	○	◎	○	◎	◎	◎
	(3) 道徳的価値の理解を自分との関わりで深め、主体的・対話的に学習できるような工夫がなされているか。	◎	◎	◎	○	◎	◎	○
	(4) 問題解決的な学習、道徳的行動に関する体験的な学習を通して、多面的・多角的に考えることができるよう配慮がなされているか。	◎	○	◎	○	○	○	○
	(5) 文字の大きさ、文字数、レイアウト等は生徒の発達段階に応じて配慮がなされているか。	◎	○	◎	○	○	◎	○
	(6) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、問題がとらえやすくなるよう配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 生徒の発達の段階に即して、それぞれの内容項目の教材が適切に配列されているか。	○	◎	◎	○	○	○	◎
	(2) 生徒が主体的に、相互に関わり合いながら取り組めるよう、地域や生徒の実態に応じ、各学校で創意工夫して適切な指導計画が作成できるよう配慮がなされているか。	○	○	○	○	○	○	○
	(3) 「道徳科における見方・考え方」を働かせ、現代的な課題など物事を多面的・多角的に考えるために配慮がなされているか。	◎	○	◎	○	○	○	○
	(4) さし絵、写真等の扱いが学習指導に生かせるものになっているか。	◎	○	◎	◎	○	◎	○
	(5) 学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握できるよう工夫がなされているか。	◎	○	◎	○	○	○	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	○	◎	○	○	◎	○

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [道徳]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	・人間の弱さに焦点を当てた問いにより、共感的に教材と向き合いながら道徳的価値に迫れるよう「てびき」が設けられている。 ・道徳的価値についての理解や自覚を深める中心となる発問の他に、「見方を変えて」という切り口を変えた問いが設けられ、多面的・多角的に捉えることができる工夫がなされている。 ・他教科や日常生活と関わらせて考える「つなげよう」を設け、生徒が主体的・対話的に学習に取り組める工夫がされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1)	・1年間を通して生徒の成長に寄り添うようなユニットで構成されており、学習の見通しがもちやすい。物語や説明文、漫画など様々な題材が用意されていて、単調な学習にならず学習に取り組みやすくなっている。 ・情報モラルやキャリア教育など、全学年で扱う内容では、学年の発達段階や学習状況に合った内容が配置され、段階的に学習を積み重ねていくことができるよう配慮されている。
	(2)	・読み物においては、様々な分野の専門家、等身大の登場人物、現在活躍する人物など、幅広い題材で生徒の興味や関心を引き出す工夫がされている。 ・視覚的にも生徒の興味・関心を喚起する漫画形式の教材や写真、表やグラフ等、提示の方法が多様であり、生徒が教材に引き込まれ、自ら考え追求できるように工夫されている。
	(3)	・「まなびをプラス」のページが設けられており、友と意見を交換したり、立場を変えて考えてみたりしながら、自身の道徳的価値の理解を深めたり広げたりすることができるような工夫がされている。 ・「チャレンジ」では、役割演技や問いを立てて話し合ったり、「やってみよう」では、グループの仲間と問い合ったりするなど、与えられた問いに答えるだけでなく自ら問いを立て、協働的に解決に向かう力を伸ばす工夫がされている。
	(4)	・「やってみよう」のページでは立場を変えて登場人物の心情を考える活動が入っており、言語活動を中心として多面的・多角的に考える事ができる内容が入っている。付録では小学校時代に扱った話にふれ、小学生のときには気づかなかった面も見直してみる内容が含まれている。 ・「よりよい集団生活、集団生活の充実」を扱った教材で問題解決のステップを明示し、問題を解決する中で道徳的価値に迫ることができる教材が取り入れられている。 ・「考えよう」を通して、教材を自分に寄せて考えたり、問題を解決するにはどうすればよいか考えたりする問いが用意されている。
	(5)	・読み物資料もあれば、文字数の少ない漫画のページなどもあり、メリハリをつけた構成がされている。 ・字体の使い分けや、本文と学習の手引きの区別がはっきりとしている。また、文字が多すぎず、適切な行間が確保されているため文章が苦手な生徒でも読みやすい。
	(6)	・ページ全体が薄くクリーム色になっており、目に優しい本の作りになっている。さし絵や写真も綺麗なものが多く、落ち着いた見やすい色合いにもなっている。 ・大きな写真が適所に配され、イメージを豊かに広げる工夫がされている。 ・中学校以上の配当漢字には振り仮名が付いており、読みの負担が軽減されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	・1年間の学びが、生徒の成長に寄り添うようなユニットで構成されている。また、学校行事が行われている時期に関連した道徳の学習を行えるよう、教材配列が配慮されている。 ・同じ内容項目を扱う教材については、各学年の発達の段階や生徒の生活に合わせて話題や分量を変えるなど、各学年の生徒の実態に応じた工夫がされている。
	(2)	・目次のページでは何をねらうユニットかが分かりやすくなっており、地域や学校の行事に合わせて時期を変えて行う際にも、教材を探しやすくなっている。 ・巻末の最終ページに内容項目別に教材名と現代的な課題等との関わり、他教科・領域との関わりが一覧になっており、年間計画を作成する際、有効に活用できるようになっている。

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、 まとめと評価	(3)	・いじめ問題についてじっくりと考えることができるように、全学年に「いじめを許さない心について考える」というユニットが設けられ、年度の早い段階に配置されている。ユニットは「向上心、個性の伸長」「公正、公平、社会正義」「友情、信頼」など様々な内容項目の教材で構成され、多面的・多角的に考えられるようになっている。 ・いじめ問題、情報モラル、環境、人権といった現代的な課題について、対話を重視した学習を行うことで、生徒が多面的・多角的に考えることができるように配慮されている。
	(4)	・多くの写真が載っており、イメージがつきやすくなっている。物語の資料でも、さし絵が用意されており、登場人物の心情を察しやすく構成されている。 ・教科書紙面のQRコードから、教材で取り上げている人物へのインタビューや教材の理解を補足する資料、朗読音声などのコンテンツにアクセスすることができ、学びをさらに深めることができる。 ・内容を理解するための助けとなる絵や写真が、読み物教材では中心的な発問の前に配置されている。また、図表やグラフも適切に配置され、生徒の興味を引きながら内容理解につなげている。
	(5)	・巻末の「まなびの記録」を使用して、1年間の学習の始めと終わり、毎時間の振り返りを記録することができ、1年間の学びを、1枚で見渡すことができるように工夫されている。 ・「まなびの記録」シートへの記入だけでなく、デジタルコンテンツを活用することで、学習状況を仲間と共有したり、自身の学びの過程をいつでも振り返ることができるよう配慮されている。
4 全体的な特色	(1)	・全学年に人権を取り立てたユニット「共に生きるために大切なことは？」が設けられており、人権に対する意識を高めるとともに、差別を許さない心を育めるように、さまざまな話題から考えを深められるように工夫されている。 ・何を学ぶのかを意識し、毎時間の振り返りを蓄積していくことで、生徒が主体的に学ぶことができるように工夫されている。また、「問う」に着目した様々な活動を設け、自分事として考えられるように工夫されている。 ・どの学年の題材においても「自分も他者も大切にする」という考え方が重視されていて、現代の様々な課題に対応する力をつけることにつながる工夫がされている。 ・中学生の共感を得られる題材が多い。文字が多すぎず、小さすぎず、写真等も含めて全体的に見やすい。